

多彩な暮らし、叶えるまち。ー 田園都市しおじり ー

丘中学校区版

地域と学校とが協働して取り組む
塩尻市 コミュニティ・スクール
2025年度 実践集

2025年度 塩尻市コミュニティ・スクール実践集のテーマ

10年間の成果を感じ、10年先を見据える

～これまで積み上げたものを次の時代につなげよう～

熟議

協働

マネジメント



[絵] 広丘小3年
高橋 璃菜 さん
「みんなで育てた
おいしいぶどう」



塩尻市 HP



塩尻市教育委員会

○巻頭言 塩尻市コミュニティ・スクール10年 そして ……1

塩尻市 教育長 佐倉 俊

■ **塩尻中学校区版 10年の取組**

- *塩尻東小…………… 2~23
- *塩尻西小……………24~45
- *塩尻中……………46~67

塩尻市CS&公民館フェスタ



■ **広陵中学校区版 10年の取組**

- *桔梗小…………… 2~23
- *広丘小……………24~45
- *広陵中……………46~67



■ **丘中学校区版 10年の取組**

- *片丘小…………… 2~23
- *吉田小……………24~45
- *丘中……………46~67



■ **塩尻西部中学校区版 10年の取組**

- *宗賀小…………… 2~23
- *洗馬小……………24~45
- *塩尻西部中……………46~67

■ **楢川小中学校・両小野学園版 10年の取組**

- *楢川小中(義務教育学校)…………… 2~51 (含特別寄稿)
- *両小野学園(小野保育園・北小野保育園・両小野小・両小野中)
……………52~97 (含特別寄稿)

● <特別寄稿>「コミュニティ・スクール10年を振り返る」 ……68~69

● 参考「地域と学校とで協働して育てたい子どもの姿」 ……70~72 (98~100)

*平成29年度第1~2回学校運営協議会におけるGW(カレカレ)を通して共有したもの

◆ 「塩尻市教育委員会の窓から」 ……73~74 (101~102)

塩尻市コミュニティ・スクール10年 そして

平成28年4月、塩尻市内のすべての小・中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとしての活動がスタートしました。そのコミュニティ・スクールは、今年度10年目（両小野学園は11年目）という節目の年を迎えました。これまでの各校のコミュニティ・スクール活動の推進に、ご理解ご協力を賜りました、すべての皆様に感謝を申し上げます。

この取組みは、「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」を理念とした塩尻市教育振興基本計画において、育てたい人間像として定めた、「社会を生き抜く力を備えたひと、郷土を知り、誇りと愛着をもったひと」の育成に、コミュニティ・スクールというツールが最も有効であると考えたことから始まりました。この10年間を振り返ると、子どもたちに社会を生き抜く力や郷土に対する誇りと愛着を育もうと、地域と学校が力を合わせ一生懸命取り組み、多くの「こと」や「もの」を創り上げてきました。その結果、その学校らしい、またその地域らしい特色ある活動が創り出され、徐々にステップ・アップし、10年たった今では伝統となりつつある「こと」や「もの」もあります。そして、一番の成果として、子どもたちを中心として、地域の多くの「ひと」がつながりました。

一方、軌道に乗り出したコミュニティ・スクール活動でしたが、令和元年度末からの約3年間は、コロナ禍により、創り上げてきた多くの活動が制限を受け、足踏みをしました。各校が分散登校やオンライン授業、学級・学年閉鎖という出口の見えないトンネルの入口に立たされた中でも、各コミュニティ・スクールは、校内の消毒、オンラインでの活動や感染対策を万全にした上での活動などに創意工夫して取り組んできました。令和2年度の実践集のテーマは「アンダー コロナ禍 未来につながる大きなチャレンジ！」です。この困難な状況に対しても、地域と学校が力を合わせ、前を向いて乗り越えてきたチャレンジが、今につながっています。

コロナ禍を経験した私たちは、子どもたちの豊かな成長には、子どもたちが多様な「ひと・こと・もの」と出会い、交流するなどの体験活動が欠かせないこと、また、よりよい地域づくりには、学校を核として「ひと」がつながり、「こと」や「もの」を創造していく営みが欠かせないことを実感しています。この実感をもとに取り組んできました、ここ数年のコミュニティ・スクール活動は、コロナ禍前に戻るだけではなく、さらに充実、進化を遂げています。そのような他校の実践に学びつつ、これからの10年を見据えて、自校の実践の取組みを広げたり質を高めたりするために、本実践集をご活用いただければ幸いです。

塩尻市教育長 佐倉 俊

片丘小学校コミュニティ・スクール

地域の方との学び

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



ヒラタケの駒うち (①)、せせらぎ清掃 (②)・焼きトウモロコシ・もち米栽培 (③④) は学校支援ボランティアの皆さん、ささら踊り (⑤)・東雲太鼓 (⑥)・フラワーボトル作り (⑦) は各保存会の皆さんに教えていただきながら取り組みました。夏休み中8月21日には「つながろう片丘実行委員会」による中庭夏祭りが行われました。保護者も一緒に飯盒炊きをしったり、公民館との共催で水遊びをしりました。(⑧)

また、クラブデー (⑨) では、様々な分野について秀でた方を地域からお呼びし、地域の特色である自然や、文化、人などから学ぶことができました。

読書活動

読み聞かせボランティア (⑩) や、おひさまの会 (⑪) の皆さんによる読み聞かせでは、様々な本との出会いがありました。



地域への発信・地域との交流 「つながろう片丘 開校記念の日」

⑫



⑬



⑭



⑮



⑯



⑰



⑱



⑲



⑳



「つながろう片丘 開校記念の日」(10月11日)の中で、各学級で取り組んできた学習活動について発表する機会を設けました。1年生はアサガオの栽培、2年生はウサギの飼育、3年生は保存会の方々に教わった「ささら踊り」(⑫)4年生も保存会の方々に教わった「東雲太鼓」(⑬)、5年生は畑ボランティアの方々に教わった米作り(⑭)、6年生は保存会の方々に教わったカタオカザクラと綿の栽培について(⑮)、児童・保護者に加え地域の方々に向けて発表しました。閉会式では参集したみなさん全員で校歌大合唱を行いました。(⑯)午後には地域の方々の協力を得て、「家族で楽しむブース」を設置することができました。(⑰⑱⑲)また片丘公民館主催の「タやけの丘コンサート」も同日開催していただき、多くの方々に来校していただきました。(⑳)地域と学校が、より一つにつながる催しとして位置付けていきたいと考えています。

＜成果＞学習発表では児童・保護者に加え地域の方(未就学児や高齢者等)も想定し、昨年度よりもわかりやすく伝えるための方策(紙芝居や体験コーナー等)を工夫する姿が見られた。上級生の発表に触れ、進級した際の活動に憧れや見通しを持つ姿が見られた。卒業生(中学生に加え高校生も)の参加があり、つながりが広まった。保存会の方々が児童の姿を見て感動し、活動が活発になったとの話を聞くことができた。

＜課題＞支援ボランティアの募集。

＜来年度に向けて＞「つながろう片丘」を合言葉に中庭夏祭り・開校記念の日の開催や公民館等との連携を継続し、地域にとって学校がより身近で来校しやすい環境を構築していく。

育みたい資質・能力〈市内共通〉

自律性を育む 〈自律〉

他者(もの・こと・人)との関係の中で、よりよさを追究し、自分で行動する力。他者(もの・こと・人)との関わりの中で、自分自身のあり方を問いつつ、自分の行動をよりよくつくる姿。

コミュニケーション力を育む 〈ことば〉

自分と相手とのやりとりを続ける中で自己理解・他者理解をする力。子どもが、ことばを用いて他者(もの・こと・人)と適切に伝え合う姿。

創造力を育む 〈創造〉

自分にとって初めてのものや価値を創り出す力。知識や経験、技能、感性等を駆使して、音楽表現、造形・絵画表現、身体表現、発想をする姿。

論理的思考力を育む 〈論理〉

知識や情報を生かしながら、対象がもつ文脈や構造を明らかにする力。子どもが、既習の知識や経験を用いて、対象がもつ文脈を読み解いたり、問題を明らかにしたり、道筋を立てて問題を解決したりする姿。

探究力を育む 〈探究〉

物事の本質を深めていく力。子どもが、物事の真相・価値・あり方について、意欲的・計画的に道筋をたどり明らかにする姿。

コミュニティ・スクール活動(生徒・学校・地域・保護者PTA・家庭)

つながろう片丘
開校記念の日

実行委員会



〈第一部〉

ふるさと学習発表会(こども祭り)

〈第二部〉

中庭活用イベント
家族で楽しむブース

〈第三部〉

たやけの丘
コンサート

〈児童にとって〉地域と共に活動したり、活動したよさを地域(公民館も含める)に積極的に発信したりして地域の一人としての自覚を深めるよい機会



定例CS会議
年4回開催
※内2回は地域教育協議会
総会も兼ねる

★片丘地区の社会福祉協議会に作ったお米の一部

を提供

地域の高齢者に
お弁当を配布

児童による地域づくりの一員としての活動

◎かたおかざくら

- ・挿し木
- ・フラワーボトル

◎東雲太鼓

- ・片丘地区の行事で発表

◎歴史探訪

- ・片丘地区の史跡を巡りながら地区の歴史を学ぶ

◎地域巡り

- ・片丘地区の産業を学ぶ ※バイオマス発電所、ワイン醸造所など

◎クラブデー

- ・地域の講師から学ぶ

◎せせらぎ清掃

- ・ピオトープの環境整備

◎丘っ子まつり

- ・ミニコンサート
- ・ハロウィンパーティー等

◎図書館支援

- ・図書館ボランティア 掲示物や装飾活動などの手伝い
- ・読み聞かせ

◎野菜の栽培

- ・なす・トマト
- ・レタス
- ・トウモロコシ
- ・大根・大豆
- ・さつまいも
- ・ポップコーン など

◎米作り

- ・片丘の田を使い片丘小の方に学びながら

◎チャレンジ

- スペース
- ・こども主体の野菜の栽培活動

収穫祭

- 焼きトウモロコシ
- レタスの販売
- ポップコーン販売
- 無人販売店

2025年(令和7年度)片丘小学校支援部ボランティア年間計画及び児童活動案

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事会合等	入学式 全校参観日 学校運営協議会① 地域教育協議会①		全校参観日 クラブデー①	夏休み 合同学校運営協議会 (各校の委務)②CS職員 合同研修会 (各校にて学連と合同)	夏休み 中庭夏祭り	全校参観日 クラブデー②	夕やけの丘コンサート 学校開放 ハロウィンパーティー	2・4・6年参観日 クラブデー③ 片丘公民館文化祭	学校運営協議会③ 冬休み	冬休み	特支参観日 2・4年参観日 1・3・5年参観日 学校運営協議会④ 青協協議会② 6年参観日 コスプレフェスタ2025 CS 市民集会2025	卒業式 春休み
地域の方との学び	カタオカザラボトル6年 地域探検3年 金管バンド支援 ミニコンサート		クラブデー① カタオカザラボトル4年			クラブデー② 東雲太鼓4年 ささら踊り3年 ミニコンサート	夕やけの丘コンサート ハロウィンボウフロン作り	音楽会	ありがとうコンサート			
読書活動	読書ボランティア募集	・月2回の読み聞かせ							読書旬間 おひさまの会		特支親子調理活動	
安心安全	登下校見守り 片丘子ども見守り隊											
学校環境・農業体験	せせらぎ池清掃2年 きのこ駒打ち1年 畑作り 畑おこし、マルチ敷き 中庭芝管理 米作り	種まき・苗植え 5/中 運動会前草刈り 5/末	追肥・育成	草刈り 水やり 焼きトウモロコシ		秋野菜準備・種まき 夕やけやけ丘コンサート前 草刈り		キノコ料理	畑片付け・土作り			
児童会 PTA活動		代掻き・田植え	水管理	草刈り 草退治		稲刈り	脱穀 資源物回収	収穫祭 落ち葉拾い	たてわり清掃			
児童の地域活動案		PTA作業	運動会片付け ボール清掃			PTA作業 たてわり清掃						
つながるうらや 開校記念の日												
			あいさつ運動(全校) プランター配り(みどり委員会) 社会福祉協議会へお米の寄付(5年) 埴川の家交流(3年) ゴミ拾い(全校) 地域の行事への積極的な参加(全校) 防災学習(5年) アルミ缶回収(清掃整備委員会) エコキャップ運動(代表・ボランティア委員会) 赤い羽根募金(代表・ボランティア委員会)									

片丘小学校コミュニティ・スクール

地域の方との学び

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



ヒラタケの駒うち (①) や大豆・トウモロコシ・もち米栽培 (②④⑤) は支援ボランティアの皆さん、ささら踊り (③)・東雲太鼓・フラワーボトル作り (⑥) は各保存会の皆さんに教えていただきながら取り組みました。

特別支援学級が参観日等に行っていた販売活動が、地域の方に作っていただいた小屋を活用することにより通年で行うことができるようになりました。(⑦) また、クラブデー (⑧⑨) では、様々な分野について秀でた方を地域から呼びし、地域の特色である自然や、文化、人などから学ぶことができました。

読書活動

読み聞かせボランティア (⑩) や、おひさまの会 (⑪) の皆さんによる読み聞かせでは、様々な本との出会いがありました。



地域への発信・地域との交流 「つながろう片丘 開校記念の日」

⑫



⑬



⑭



⑮



⑯



⑰



⑱



⑲



⑳



「つながろう片丘 開校記念の日」(10月12日)の中で、各学級で取り組んできた学習活動について発表する機会を設けました。(⑫) 1年生は学校探検をした様子(⑬)、2年生はウサギの飼育(⑭)、3年生は保存会の方々に教わった「ささら踊り」(⑮) 4年生も保存会の方々に教わった「東雲太鼓」(⑯)、5年生は畑ボランティアの方々に教わった米作り、6年生は保存会の方々に教わったカタオカザクラ等について、児童・保護者に加え地域の方々に向けて発表しました。午後は地域の方々の協力を得て、「家族で楽しむブース」を設置することができました。(⑰) ⑱) また片丘公民館主催の「タやけの丘コンサート」も同日開催していただき、多くの方々に来校していただきました。(⑲⑳)

地域と学校が、より一つにつながる催しとして位置付けていきたいと考えています。

＜成果＞学習発表では児童・保護者に加え地域の方(未就学児や高齢者等)も想定し、わかりやすく伝えるための方策(言葉遣いや掲示物等)を工夫する姿が見られた。また発表を認められて伝える喜びを感じることができた。

保存会の方々が児童の姿を見て感動し、活動が活発になったとの話を聞くことができた。

＜課題＞支援ボランティアの募集。

＜来年度に向けて＞「つながろう片丘 開校記念の日」を継続し、地域にとって学校がより身近で来校しやすい環境を構築していく。また現在支援しているの方々からボランティアに協力してくださる方を紹介してもらうよう働きかけていく。

片丘小学校コミュニティ・スクール

地域や保護者の皆様に支えられ、片丘小学校は今年度、開校150周年を迎えました。記念運動会、記念音楽会、記念式典と地域や保護者の皆様とともに節目の年を祝いました。

地域の方との学び

①



②



③



カタオカザクラを使ったフラワーボトルづくり(①)や、挿し木(②)は、カタオカザクラ保存会の皆さんに教えていただきながら取り組みました。また、クラブデー(③)では、様々な分野について秀でた方を地域からお呼びし、地域の特色である自然や、文化、人などから学ぶことができました。

④



⑤



⑥



開校150周年記念運動会(④)では、地域の方々も参加した大玉送りと記念キャラクターが背負うかごに玉を入れる玉入れの記念種目も行い、フィナーレには風船を放って祝いました。記念式典(⑤)では、多くの来賓の方を迎え、保護者の方や地域の方々とともに150周年を祝いました。記念音楽会(⑥)では、開校150周年にあたり二部合唱になった校歌を全校児童とレザンホール大ホールにいる方々が大会唱しました。

地域の方とひとつになって、ともに祝う150周年となりました。

読書活動

読み聞かせボランティア(⑦)や、おひさまの会(⑧)の皆さんによる読み聞かせでは、様々な本との出会いがありました。



地域への発信・地域との交流

⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



開校150周年記念式典後、各学級で取り組んできた中核活動について、保護者や地域の方々に発表する「丘っ子祭り」を行いました。(⑨⑩⑪) また地域に向けて学校開放し、ボランティアの方々の協力を得て、中庭に児童も楽しめるブースを設置することができました。(⑫⑬⑭) 児童と保護者、地域の方々が児童の学習の姿を見、ともに楽しむ機会となりました。

⑮



⑯



⑰



子どもたちが自分たちだけで農作物づくりに挑戦できる「チャレンジスペース」で昨年うまくできなかったりベンジを果たすべく、毎日のように畑に通いニンジン育て(⑮)、その成果を「丘っ子祭り」で他学年児童、保護者、地域の方々に発表しました。(⑯⑰)

<成果>開校150周年記念事業を中心に、児童とボランティアの方、そして保護者、地域の方も一緒になって活動することができ、学校・家庭・地域の結びつきが強まった。また「チャレンジスペース」の取り組みは、児童が「失敗から学ぶ」ことができる場となった。

<課題>ボランティアの方々の高齢化が進み、環境整備や農作業が厳しくなってきたとの声が出ている。

<来年度に向けて>150周年事業として、中核活動の発表と地域への学校開放の場を設けた。地域から継続の要望もあり、継続していく。また高齢化に関しては、PTA作業やイネづくり等、すでに保護者と共同で行っている活動を継続しつつ、機会を増やしていく。

片丘小学校コミュニティ・スクール

地域や保護者の皆様に支えられ、片丘小学校は来年度、開校150周年を迎えます。その前年度となる令和4年度は、来年に迫った記念の年を意識した活動も多く行われました。

地域の方との学び

①



②



③



カタオカザクラを使ったフラワーボトルづくり(①)や、挿し木(②)は、保存会の皆さんに教えていただきながら取り組みました。また、クラブデー(③)では、様々な分野について秀でた方を地域からお呼びし、日々の学校生活では経験できない学びが得られました。

地域の特色である自然や、文化、人などから学ぶことができました。

④



⑤



150周年に向けての活動も

地域とともに取り組んできました。毎年、児童会が中心になって行われる「丘っ子まつり」も、今年は地域や保護者の方を招待して実施されました。各学級が力を入れて取り組んでいる活動について、発表したり、体験できるコーナーをつくったりしました。3年生では、地域探検で訪れた片丘の様々な場所のよさを、訪れた地域の方へ説明していました(④)。

150周年までのカウントダウンボード(⑤)も、学校の前の道からも見えるように、各学級でパネル1枚ずつ分担し、6枚合わせた大きなものを設置しました。全校児童の手形もついたカラフルで華やかなボードができあがりました。

来年度の式典も広く地域の方に開き、ともに祝う150周年にしたいと思います。

読書活動

⑥



読み聞かせボランティア(⑥)や、おひさまの会(⑦)の皆さんによる読み聞かせでは、様々な本との出会いがあり、子どもたちの世界が広がっていきます。

⑦



学校環境・農業体験

⑧



⑨



⑩



せせらぎの池清掃（⑧）や、敷地内の樹木の剪定、プール清掃など、ボランティアの方のおかげで、子どもたちの学習環境が整っています。夏休みに大量に生えてしまった校庭の草取り（⑨）には、多くのPTA役員と地域の方が休日に来てくださいました。秋の片丘地区文化祭では、PTAの方が学校の畑でとれた野菜の販売（⑩）もしてくださいました。

⑪



⑫



⑬



畑での農業体験は、子どもたちに教室の中では味わえない学びを与えてくれます。夏のトウモロコシ栽培は今年も大豊作で、毎年恒例になった焼きトウモロコシ（⑪）を収穫したその日に全校でいただきました。秋にはずっしり大きく育ったサツマイモ（⑫）の重さを両手で感じる子どもたちの姿がありました。サツマイモのつるを使ったリースづくり（⑬）をしたり、販売学習をしたりと、農作物を活かした学習にも取り組んでいます。

学校運営協議会・地域教育協議会・チャレンジスペース

⑭



地域の方と、子どもたちに問題解決の力をつけるためのCS活動のあり方について熟議をし、今年度は、子どもたちが自分たちだけで農作物づくりに挑戦できる「チャレンジスペース」を、畑の一画に設けました。

草だらけになってしまったスペースを見て、問題に気づき、解決に向けて考え、動き出す子どもたちの姿が見られました。

＜成果＞150周年が、よい動機づけとなって、子どもたちとボランティアの方、そしてPTAも一緒になって活動することができるようになってきています。「チャレンジスペース」の取組からは、子どもたちが「失敗から学ぶ」ことができる場としての可能性を感じました。

＜課題＞さらに学校と地域、保護者が一丸となって取り組めるCS活動にしたいと思いますが、それぞれの思惑には微妙なずれがあるので、すり合わせが必要です。子どもたちがさらに主体的に活動に取り組めるような仕組みづくりや支援も考えていきたいと思っています。

＜来年度に向けて＞記念式典をはじめ、音楽会や運動会など年間を通して、すべての学校活動で150周年を意識して、地域と共にお祝いできる取組にしていきたいと思っています。チャレンジスペースでの取組もさらに工夫し、子どもたち主体の活動にしていきたいと考えています。

片丘小学校コミュニティ・スクール

令和3年度も、新型コロナウイルスの猛威は止まらず、CSの活動もなかなか思うようには進みませんでした。年間計画の中で実施できた活動の様子を紹介します。

地域の方との学び



カタオカザクラは、片丘の名前の付いた「片丘らしさ」の象徴でもあります。子どもたちはフラワーボトルづくり(①)をしたり、挿し木(②)に挑戦したりして、カタオカザクラに親しんでいます。昨年度実施できなかった東雲太鼓(③)にも今年度は取り組むことができ、子どもたちは元気よく太鼓の練習をしています。地域の自然や伝統文化を学ぶことができました。



クラブデーでは、地域の方を講師にお呼びし、片丘の自然の木を使った工作(④)など、学校の教科学習では体験できない活動に取り組むことができました。

「どうして皆さんは、私たちのためにいろいろやってくれるのですか？」国語の学習で、インタビュー(⑤)すると、ボランティアの皆さんは「君たちが好きだからです」「片丘の伝統や良さを子どもたちに伝えたい」「小さいときから見てきました。大きくなったね」と答えてくれました。子どもたちは、地域の皆さんの暖かな眼差しを直接感じていました。

ボランティアの皆さんとともに育てた農作物も、学びの材になります。ジャンボカボチャを育てた特別支援学級の子どもたちが、重さ当てクイズ(⑥)を昇降口で始めると、全校の児童が夢中になって参加していました。「本物」のもつ魅力の力は素晴らしいです。

読書活動



朝の読み聞かせボランティア(⑦)や、おひさまの会の読み聞かせ(⑧)では、子どもたちが本の世界に浸って、楽しんでいます。



学校環境・農業体験



せせらぎの池(⑨)は子どもたちの憩いの場所。ボランティアの方と力を合わせてきれいにします。R5年の150周年に合わせてホテルを飛ばそうとするプロジェクトも始まりまし。畑にはたくさんの野菜(⑩)を植えて育てています。恒例行事となった全校で楽しむ「焼きトウモロコシ(⑪)」。今年もおいしかったです。



年間を通して取り組んだ稲作体験では、現代の機械を使う農業(⑫)や、昔ながらのやり方での稲刈りや脱穀、餅つき(⑬)なども体験できました。お世話になったボランティアの方に感謝の会(⑭)を開き、お米や合唱のプレゼントをしました。地域の農業の大変さや、楽しさ、やりがいなどを学んだ子どもたちでした。

学校運営協議会・地域教育協議会



地域の方との熟議(⑮)を通して、「子どもたちに問題解決の力をつけるには、どのようなCS活動にしていけばよいのか」語り合いました。時間を忘れ、活発に意見を戦わせている皆さんの姿に、片丘小学校が地域に支えられ、地域とともにある学校なのだと、改めて感じました。

<成果>豊かな自然と伝統ある文化、そして何より「うれしい」「たのしい」「おいしい」体験を子どもたちと味わいたいと願って、細心の準備や支援をしてくださる地域の皆さんのおかげで、子どもたちが体験を通して、地域の良さ「片丘らしさ」に触れ、地域に愛着をもっていること。

<課題>地域の方たちにやっていただくことが多く、子どもたちがやや受け身になりがちなこと。子どもたちの課題意識や主体性をさらに引き出したり、「失敗から学んだり、課題を乗り越えたりすること」で、問題解決の力を育んだりしていきたい。

<来年度に向けて>

CSに関わる全ての人(地域の方、子どもたち、保護者、学校職員)が、互いの考えや願いを伝え合う対話の場を設け、思いを一つにして子どもたちをみんなで育てていく体制を作る。

地域と共に歩む片丘小学校 (片丘小コミュニティ・スクール)



学校運営協議会長挨拶

学校運営協議会で、学校の運営方針をもとに、CS活動で目指す児童の姿を決め出し、今年度の活動が本格的にスタートしました。

CSで目指す姿

学校教育目標

- ・自ら学ぶ子
- ・正直で思いやりのある子
- ・健康でたくましい子

地域の方と共に学ぶ子

地域の方とのコミュニケーションを深める子

地域の方と共に汗を流す子

<地域の方と共に学ぶ子> を目指して



4年生は、「カタオカザクラ」保存会の皆さんに挿し木の仕方を教えていただき、一人一鉢でカタオカザクラの発芽に挑戦しました。自分たちの地域の名前のついた貴重な桜のことを教えていただき、愛着をもつことができました。



クラブデーでは、地域の方に講師をお願いしました。料理・スポーツ・木工・写真・茶道など、学校の教科の学習では、味わえない体験をさせていただきました。木工や写真の作品は、片丘公民館の文化祭にも展示発表しました。



6年生は、地域に詳しい方からお話を聞き、「猪土手」を作ったり、「狼煙」をあげたりする体験をしました。

<地域の方とのコミュニケーションを深める子> を目指して



距離をあげたり、プロジェクタを使ったりしながら、読み聞かせをしています。



ボランティアの皆さんを招待してコンサートが行なわれました。波田少年少女合唱団の公演と、小学校スクールバンドの発表を楽しんでいただきました。



子ども、保護者、地域の方、NPOなど、様々な方の交流の場「夕日食堂」を行いました。

＜地域の方と共に汗を流す子＞ を目指して



全校児童で収穫し、学年ごとに日や時間をずらして、焼きトウモロコシをやりました。ボランティアの方が炭火で焼き、保護者の方も多数参加して安全見守りやお手伝いをしました。

子どもたちは、採れたてで焼きたてのおいしいトウモロコシに歓声を上げていました。



4年生は、畑ボランティアの方に教えていただきながら、レタスの栽培に取り組みました。

収穫したレタスの活用について、クラスで話し合い、試食や宣伝などを工夫しながら販売活動をしました。また、レタスを使ったハンバーガーを作ってピクニックにも出かけました。



5年生は、分散登校の間に田植えをし、稲作りに取り組みました。案山子を作ったり、鎌で稲を刈ったり、千歯こきで脱穀したり、体験を通して学ぶことができました。

収穫したもち米は、臼と杵で餅つきをしたり、地区の社会福祉協議会へ寄付したりしました。

12月の学校運営協議会では、今年のカS活動を振り返り、来年度の活動に向けての意見交換が行われました。

バイオマス発電所の見学や防災マップ作りなどの新しいアイデアや、さらに子どもが主体的に関わるように、「畑委員会」を立ち上げるなどの意見が出されました。



グループでの熟議

これからも・・・地域と共に歩む片丘小学校

みんなが集う片丘小の中庭 2019

～片丘への誇りと愛着を育む中庭～

片丘小学校コミュニティ・スクール



ぼくたち 2 年生が、地域の方やおうちの方を招いて「七夕ミニ音楽会」を開いたよ！

アルウインの芝の中庭は片丘の誇り！中庭をみんなの交流の場に



中庭は、音がきれいに響き、演奏をするにはとてもいい場所です。これからも工夫して中庭を活用する方法を学校と地域で考えていきます。

桜の咲く中庭で全校音楽



休み時間に集う子どもたち



片丘の人・自然を生かした体験活動で 片丘への愛着を育む

今年の夏休みは32日間。子どもたちの居場所づくりとして、**片丘っ子夏ゼミ**を開催。臨時学校運営協議会を2回開き、**片丘小CSの合い言葉「ネットワーク・フットワーク・チームワーク」**で準備期間1ヶ月という短時間に8講座開催できました。片丘公民館や市立図書館片丘分館とも共催し、大勢の子どもたちが夏ゼミに参加しました。中でも、「学校の畑の野菜でカレー作りに挑戦」と地域の竹を生かした「七夕祭り・中庭でそうめん流し」は、子ども・保護者・地域の方総勢200名の参加がありました。地域の方々と協力してアルウィンの芝を敷いた中庭で、片丘の自然と地域の方の特技を生かした企画で、体験を通して子どもたちが片丘のよさを感じることができました。

夏ゼミ「畑の野菜でカレー作りに挑戦！」



夏ゼミ「七夕まつり・中庭で流しそうめん！」



片丘の竹を生かして流しそうめんを計画。つゆの入れ物も竹製。竹馬や竹とんぼも作ってもらいました。笑顔あふれる中庭。



「片丘小・中庭プロジェクト」

片丘小学校コミュニティ・スクール

片丘の 人 もの こと に触れ
発見 感動 感謝 発信 して
片丘への 誇り と 愛着 を持とう！

☺ 目指すは 元気な片丘っ子！ 元気な片丘！

2017年10月中庭プロジェクト始動！「ネットワーク・フットワーク・チームワーク」

アルウィンの芝 3000 枚と砂を運びこむ。子どもたちに夢や希望をもたせられる中庭に力を結集！



中庭が芝生になれば、遊べるからうれしいね。頑張るよ。

山雅の大ファンなので、その芝がくるなんてすごくうれしい。ていねいに植えよう。ボランティアの方が手伝ってくれて本当に感謝したい。使うときは大事にするよ。

松本山雅FCのホームスタジアムの総合球技場アルウィンの天然芝全面張り替えに伴い、古い芝 3000枚を中庭 730 平方メートルに敷き詰めた。

きっかけは地域の方からの話。学校とコミュニティ・スクールで熟議をし、全校で一つのことに取り組める、児童が自分たち自身で活用の仕方もある、地域に開かれた「児童や地域住民の憩いの場」になると、中庭プロジェクトが立ち上がった。

〈学校運営協議会長さんのお話〉

全校児童が行った植え付け作業の様子を見て、本当に驚くと同時に感動しました。学校目標に向かって、先生と地域が一体に進む姿こそが、一人一人の子どもたちの心を動かすものと実感しました。地域も子どもたちから元気をいただくことができました。

2018年春を迎えた中庭の芝生。いよいよみんなが憩う場に！



4月 入学式に桜が満開を迎えました。芝生が緑に生えそろわないので、最初はそおっと歩く6年生。「僕たちが植えたアルウィンの芝だぞ！」と春の中庭で記念写真。



5月 芝も伸び、恒例の全校青空給食「ふかふかの絨毯の上みたいで気持ちいい。裸足で歩こう。」と子どもたちは大喜び。



9月 朝の時間に金管バンドのミニコンサート。爽やかなスタートに、「時々できるといいね。」と児童や職員の声。

10月 完成した中庭を地域の皆さんにお披露目しようと、片丘公民館さんに全面的協力をいただき「オータムコンサート2018」を開催しました。突然の雨で体育館での演奏。来年は、中庭で。



10月 子どもたちの希望「ハロウィンパーティー」を開催。仮装して英語で交流。最後に芝に座って手作りポップコーンを食べました。

- 成果：育てたい子どもの姿に向かって学校と地域が一体となり進む姿が、子どもたちの心を輝かすということを学校も保護者も地域の方も実感できた。
- △課題：アルウィンの芝の中庭を片丘への誇りと愛着をもつ場となるよう活用していく。今後、芝生の管理・維持に多くの人手や費用が必要である。
- 来年度に向けて：中庭に愛称をつける。地域の方へのお披露目の機会をつくる。維持管理の体制作り。



地域への誇りと愛着

～発見 感動 感謝 発信～

片丘小学校 コミュニティ・スクール

■学校運営協議会の取組み

コミュニティ・スクール2年目となった今年、学校運営協議会では、児童の目指す姿を話し合う中で、今年度の活動を見通し、推進しました。グランドデザインの中にも、

片丘の人もものことに触れ

発見 感動 感謝 発信 して

片丘への誇りと愛着を持とう！

☺ 目指すは 元気な片丘っ子！ 元気な片丘！

と目指す姿を位置づけて取り組んできました。

第3回の学校運営協議会では、今年度の活動を振り返り、全国学力・学習状況調査と学校自己評価の結果からご意見をいただきました。

- ・単級のよさを生かし、課題（競争心を持つ等）も自覚して伸ばしていきたい。
- ・数値では測れない力も大事にしたい。
- ・人とのつながりは人との対話につながる、そこを大事にしたい。
- ・地域とのつながりがあることが、子どもが大人になってから地域に戻ってくることになる。
- ・子どもたちを宝だと思ってくれている地域の方々とのつながりを大事にしたい。
- ・片丘の自然が自慢だと思える子どもたちの心を大事にしたい。

また、「中庭芝生プロジェクト」については、

- ・夕やけの丘コンサートを行いたい。
- ・全校で給食や集会等の活動ができそう。
- ・今後の管理のし方を考えていきたい。
- ・地域の皆さんにも気軽に活用していただけるようにしていきたい。

と、来年度の活動がふくらみました。



今年は本当に大勢の地域の皆さんの力が学校に注がれた年でございました。学校目標に向かって、先生と地域が一体となって進む姿こそが一人一人の子どもたちの心を動かすものと信じます。

全校児童が行う芝の植付け作業を見ていて本当に驚くと同時に感動いたしました。

地域も子どもたちより元気をいただき、明るく住み良い地域になりますよう祈っております。

学校運営協議会
会長 小松幸男さん



【学校運営協議会の成果と課題】

○目指す子どもの姿、地域の姿を考えながらすすめることができた。中庭芝生プロジェクトでは、臨時学校運営協議会を開き、協議会が中心になって計画、実施をした。

▲学校での取組みを多くの地域の方に知ってもらう方法を考えていきたい。また、学校から地域に発信する取組みも考えていきたい。



《とっておきの話》

3年生は、今年大根や野沢菜など秋野菜づくりに挑戦しました。収穫した野菜で何を作るかを調べる宿題が出たとき、ある子が帰り道にいつもお世話になっていた小松さんが作業をしていたところに出会い、直接相談をしました。小松さんは相談されたことを喜んで料理が得意な地域の方に話をつなげてくださいました。調理も手伝っていただくことになり、おいしく作るコツも教えていただけました。3年生の料理は全校児童・職員にも大好評でした。

地域への誇りと愛着 ～発見 感動 感謝～ 片丘小学校

地域の力をお借りして

片丘小学校は、これまで地域の方々から多くの力をお借りして、様々な支援をしていただいている。

①地域の宝である、「カタオカザクラ」保存活動、「東雲太鼓」^{しのめ}「ささら踊り」等の伝統文化の体験活動が学習として位置づいている。クラブ活動では、わらぼうり作りや木工、おやき・やしょうま作りなどの地域の特色を取り入れた活動を支援していただいている。

②「かたおか子ども見守り隊」や駐在さんにより、毎日子どもたちの登下校の安全確認やあいさつ運動に取り組んでいただいている。



③読書活動として、「片丘分館」「おひさまの会」「おぼっこぼっこ」等の団体の方からのおはなし会の他、26年度からは読み聞かせボランティアの募集をして、月2回の読み聞かせが定着している。

④民生児童委員さんを中心に、学校のせせらぎ広場の清掃、校舎周辺の草刈等、毎年お力をお借りして学校環境を整えていただいている。

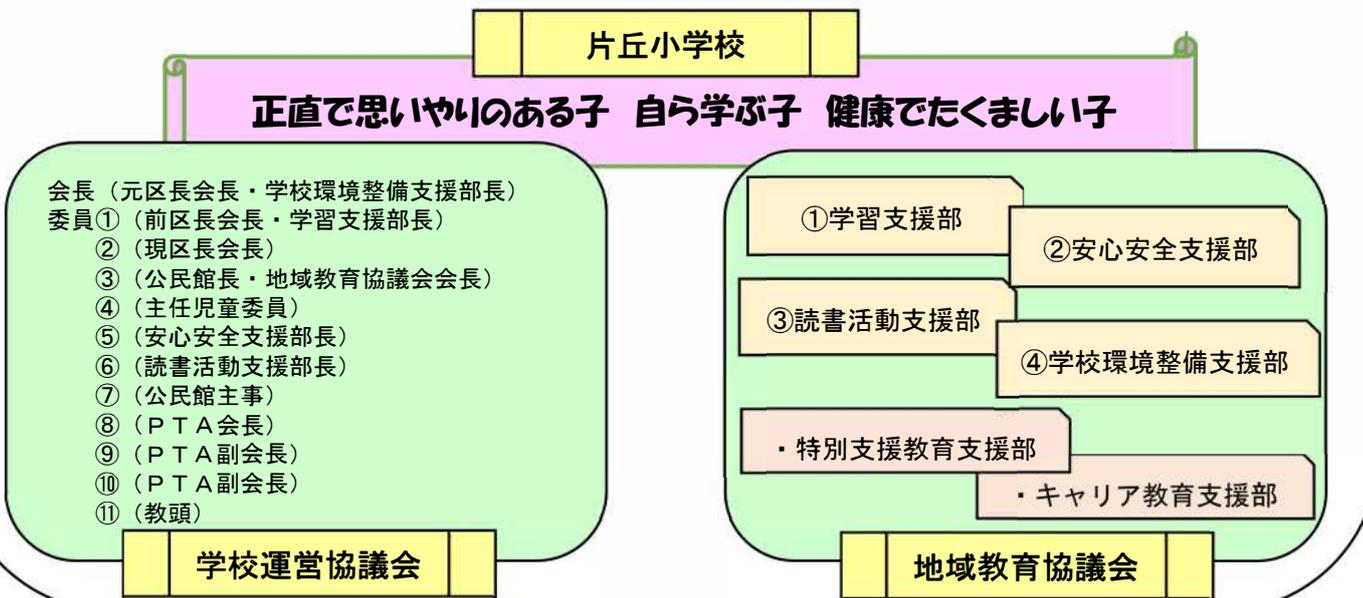


PTA活動としての学校支援

家庭数減少に伴い、PTA活動でも「学校支援活動」として、1家庭2支援以上の協力をお願いしている。「運動会の準備・片付け」「プール清掃」「縦割り清掃」「草退治」「落ち葉はき」は、児童、職員だけでは大変な作業であり、保護者の支援にたいへん助けていただいている。

コミュニティ・スクール元年

学校運営協議会を組織するにあたって、これまで学校支援に関わっていただいている方々が快く引き受けてくださり、協議会の話し合いも活発に行われている。地域教育協議会は、上記①～④の取り組みを中心に4支援部（学習・安心安全・読書活動・学校環境整備）で進めている。残りの2支援部（特別支援教育・キャリア教育）については、活動を模索中。今年度50名のボランティア登録をしていただき、多くの方に関わっていただいた。地域教育協議会参加者は10数名ほどだったが、活発な意見を出していただいた。支援部同士の横のつながりも生まれてきている。



28年度の取り組み (○昨年も行ってきたもの ☆今年度新しい取り組み)

1年

- 畑で野菜づくり
(トウモロコシ
・ミニトマト
・ポップコーン)



2年

- せせらぎの池掃除
☆しいたけのコマ打ち
- 畑で野菜づくり
(トウモロコシ
・ミニトマト・大豆)



3年

- ☆めだかを飼う
- ささら踊り体験
- 畑で野菜づくり
(トウモロコシ・サツマイモ)
- 畑で花づくり
(ヒマワリ・オシロイバナ・ホウセンカ)



4年

- カタオカザクラさし木
- 東雲太鼓演奏
- 畑で野菜づくり
(トウモロコシ・スイカ
・トマト・ミニトマト)



5年

- 米づくり
- 畑で野菜づくり
(とうもろこし・ナス・トマト
・ミニトマト・キュウリ・ピーマン・パセリ・小松菜 他)
- ☆野菜販売 (東雲の丘)



6年

- カタオカザクラ
フラワーボトル作り
- 畑で野菜づくり
(トウモロコシ・ニンジン
・シソ・トマト・ピーマン)



その他

- クラブデー (4・5・6年:年2回)
(わらざうり・木工作・料理・茶道・グランドゴルフ
・スクラップブックング・ニュースポーツ)
- 家庭科 (5・6年) ミシン学習支援
- 読み聞かせ (全学年:月2回)
片丘分館・おひさまの会・おぼっこぼっこ おはなし会
- 登下校の見守り (かたおか子ども見守り隊)
- ☆PTA作業 (保護者と支援ボランティアと合同開催)



成果と課題

- 本年度の畑での野菜づくりは、畑おこし、マルチしき、消毒、支柱立て、横芽摘み、草取り、畑じまい等々、多くの手を貸していただいた。また、種まきをして鳥に食べられないための工夫、支柱や網をかけて成長を助ける等、作物を育てる様々な工夫も教えていただき、たいへんありがたかった。
- ▲今年度は昨年度まで取り組んでいたことを主に活動が進められたが、来年度に向けて、どんな子どもたちに育てるか、そのためにどんな取り組みをしていくか見返していきたい。また、1年生が取り組む活動が少ないので、今後考えていきたい。
- ▲本年度最後の地域教育協議会で、これだけの活動をもっと地域の方にも知ってもらったらどうか、というご意見をいただいた。今年は地区の文化祭でクラブデーの様子を展示したが、その他にも地域に発信できる方法を考えていきたい。

塩尻市立吉田小学校コミュニティ・スクール

令和6年度に引き続き、「こども未来プロジェクト」「こどもやすらぎプロジェクト」「学びお助けプロジェクト」の3つのチームに分かれ、みんなで目指す姿『笑顔でつながる吉田っ子』～本気で「聴き合う」仲間になろう～の実現に向けて活動に取り組んできました。昨年度の活動から、CSを中心に取り組んでいく事業やPTAを中心に取り組んでいく事業をさらに考え、より多くの人々が参加し活動が充実していくことや地域とのつながりを大切にしています。

中でも、吉田夏ゼミは吉田地区の諸団体が連携・協働し、夏休みの取組として過ごしています。



吉田小コミュニティ・スクール、吉田小PTA、吉田体協など吉田地区の子どもに関わる諸団体が連携協働して毎年夏休み中に開催している「吉田夏ゼミ」。今年は7月27日から8月1日までの6日間開催されました。7月27日は吉田小PTAが中心となり「田川に生息する生き物観察」を、7月30日には「セイヨウエゾソシ広丘事業所見学」残りの4日間は午前と午後に分かれた4つの講座：「ミニスポーツを楽しもう(吉田体協)」「楽しい理科教室(丘中科学部)」「楽しい短歌づくり(中山巖先生)」「ネットPCの中身は?((株)エプソンダイレクト)」を実施しました。講座のある4日間には昼食も提供され充実した楽しい時間を過ごしました。



昨年度から月1回開催されている子ども食堂「ちごちご広場」。夏休みは夏ゼミに合わせて4日間、お昼の提供をしていただきました。今年は季節によってのひと工夫もあり、子どもたちを含め、地域ボランティアの方のお力をいただいております。

夏ゼミ:エフ・ン見学



学習活動がスムーズに進むように、いろいろな場面で協力をしていただいています。子どもたちの喜びと共に職員の負担軽減や指導の充実につながっています。ボランティアの方々も、子どものためならと率先して参加いただいでいて、とてもありがたいです。今後も、Win-Winの関係づくりを大切にして活動を進めていきます。



交通安全教室見守り指導



乗り物遠足付き添い

来入見検診補助



畑起こし



マシン指導支援

成果:昨年度の活動を基本とし、1つ1つの活動への取組が充実したものとなっていた。

課題:活動を支えていくボランティアをどのように増やしたり引き継いだりしていくか。より多くの方の参加ができる広報や機会をどのように設定していくか。

今後の方向:夏ゼミだけでなく、さらに地域の方と児童が一緒になって活動する機会を模索していき、地域とのつながりを深めていけるようなコミュニティ・スクールの活動を考えていく。また学校を拠点とした地域のつながりが、さらに深めていけるような取組を考えていきたい。



学校運営協議会

吉田の子どもの現状

明るくはつらつとした
素直な子どもたち

心身の健康管理が難しい
運動格差が激しい

核家族化の進行
生活習慣上の課題
異年齢との交流の不足

I C T 機器の活用・情報が
あふれる社会

自然体験や地域との関わり不足
バーチャルな体験が実体験
以上に身近なものに

高層マンション建設、交通
施設の複雑化など都市化し
ていく地域 安全面の課題

コロナ禍により伝統文化や
恒例行事が未体験

学校での取組み

【めざす姿】
多様な人々と協働しながら
自分をより高めていこうとする
吉田っ子

- 「ねらい」「めりはり」「みとどけ」を意識した授業の構造化
- I C T 機器を利用した視覚支援や個別最適化された学び
- 児童が問いをもてる導入の工夫
- 試行錯誤を繰り返す探究の過程
- 子どもの考えが響き合い、深め合う対話の創造
- 合理的配慮・環境調整を通して、どの子も学びやすい環境づくり

「総合的な学習の時間」(中・高学年)
「生活科」(低学年)
「自立活動」(特別支援学級)を中心に
＜活動例＞

春探し・秋探し 飼育

米作り野菜作り・収穫に感謝

地域の産業を知る

お年寄りや園児との交流

さらばかゆうびんきよく

地域に役立つ活動

ちごちごの花保護

劇づくり・発表会

短歌づくり・展示・リケール

地域での取組み

「吉田CSゼミ」を中心に

吉田ならではの学校ではできない学びを

- 吉田のひと・もの・ことを知る
- 吉田のひと・もの・こととつながる
- 吉田のひと・もの・ことから考える
- 吉田のひと・もの・ことのために動く

体験 交流
参画

＜活動例＞

田川での生き物観察 田川に棲む生物の観察

セイコーエフソンなど企業見学 グループ毎2時間立事業
所内を見学させてもらう

科学実験 丘中科学部の生徒が講師

パソコンの分解組み立て エフソンのパソコンに
コンの仕組みを教えてもらう

短歌をつくろう 地域の先生に教わり、感じたことを
短歌にしよう

夏休みの宿題をやっつけろ！ 自分で取り組もう。わからない
ところは上級生に教わろう

宇宙の仕組みを考える 星空を観察しよう

ウォークラリー 吉田地区の歴史・史跡等をめぐり
吉田地区のお店や企業のスタンプラリー

ようこそ先輩 吉田地区の先人の話を聴く
地域に根ざした方の講師

松本空港見学 空港の色んなお仕事を知ろう

登下校の見守り

読み聞かせ

学習支援

育みたい資質・能力 <領域>

自律性を育む <自律>

他者(もの・こと・人)との関係の中で、よりよさを追究し、自分で行動する力。
他者(もの・こと・人)との関わりの中で、自分自身のあり方を問いただし、自分の行動をよりよきにつくる姿。

コミュニケーション力を育む <ことば>

自分と相手とのやりとりを続ける中で自己理解・他者理解をする力。
子どもが、ことばを用いて他者(もの・こと・人)と適切に伝え合う姿。

創造力を育む <創造>

自分にとって初めてのものや価値を創り出す力。
知識や経験、技能、感性等を駆使して、音楽表現、造形・絵画表現、身体表現、発想をする姿。

論理的思考力を育む <論理>

知識や情報を生かしながら、対象がもつ文脈や構造を明らかにする力。
子どもが、既習の知識や経験を用いて、対象を明らかにしたり、道筋を立てて問題を解決したりする姿。

探究力を育む <探究>

物事の本質を探っていく力。
子どもが、物事の真相・価値・あり方について、意欲的・計画的に道筋をたどり明らかにする姿。

令和7年度 塩尻市立吉田小学校 CS活動 年間計画

CS活動予定表		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定例学校運営協議会	CS活動①	定例学運協①	CS活動②	CS活動③	定例学運協②	8月 企業見学 (エフノン)	CS活動④	CS活動⑤	CS活動⑥	定例学運協③	CS活動⑦	定例学運協④	CS活動⑧
CS懇談会 (プロジェクト代表者会)	CS活動①	CS活動②	CS活動③	CS活動④	CS活動⑤	CS活動⑥	CS活動⑦	CS活動⑧	CS活動⑨	CS活動⑩	CS活動⑪	CS活動⑫	CS活動⑬
学習支援	生活科学学習支援 総合的な学習支援 校外学習支援 家庭科学学習支援	春探し 1年遠足 2年町めぐり 3年校区めぐり	裁縫指導	吉田夏ゼミ	2年乗の物遠足 ミシン指導	秋探し 2年乗の物遠足 3年社会科見学 4年社会科見学	しめ飾りづくり	稲刈り	雪かき	2年スケート教室			
キャリア教育	金管バンド部	田植え	花壇整備 おきな草保護	交通安全教室 発育測定補助	夏ゼミ支障者募集	夏ゼミ参加者募集	夏田地区文化祭	来入見学補助	実践集制作	CS市民集会			
課外活動	読み聞かせ 図書館環境整備	草刈り	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助
読書活動	外回り	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助
施設環境	登下校見守り	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助
安全安心	* 調理支援など	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助
特別支援教育	発表・周知活動 運営基盤整備	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助
広報活動	高学年 低学年 全校	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助
ボランティア名簿以外も含む外部講師	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助	交通安全教室 発育測定補助

★ 「生活科 (1, 2年)」「総合的な学習の時間 (3~6年)」は、各学年 (学級) からの依頼をもとに、コーディネーターを通して随時相談させていただきます。また、感染症の状況等で変更になることがあります。

塩尻市立吉田小学校コミュニティ・スクール

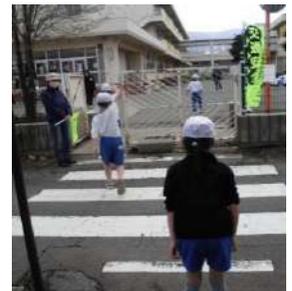
令和5年度の学校運営協議会において、「吉田区民として吉田小の子どもたちの育成のために（自分として楽しく）できること・できそうなこと」を出し合い、以下の3つに整理された。

- 吉田小児童の放課後や長期休業中における居場所づくり
- 子どもたちが地域のためにできることを探してみる
- 自分ができることによって提供できる（できそうな）CS活動

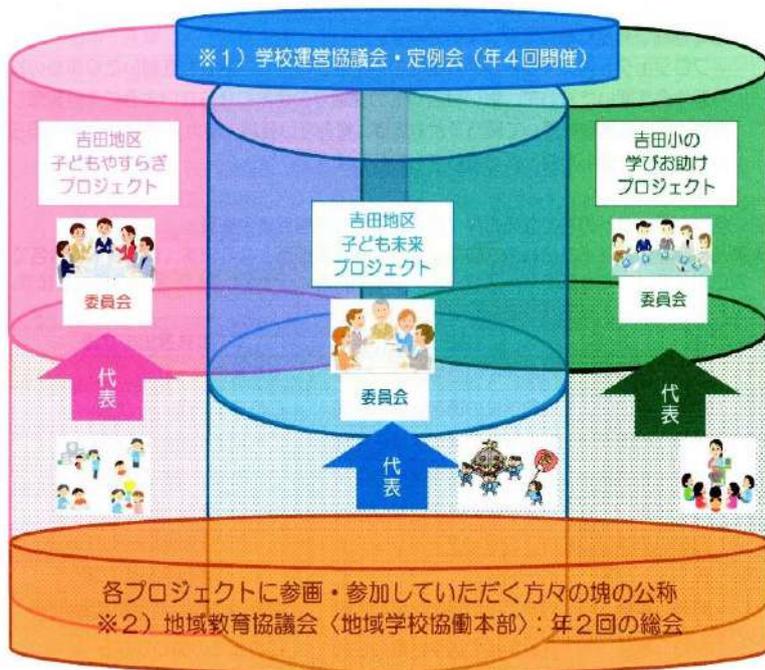
令和6年度は上記をもとに活動の柱（プロジェクト）を決めだし、学校運営協議会委員を再構成した。

○ 令和6年度における吉田小CS活動の柱（3つのプロジェクト）

- (1) 吉田地区子どもやすらぎプロジェクト
放課後や長期休業中の子どもの居場所づくり
〈物心両面において安心して安全に過ごせる場所・内容の確保〉
- (2) 吉田小の学びお助けプロジェクト
吉田小の教育課程や学校環境整備に先生方とともに関わる
〈吉田小教職員の物心両面にわたる地域からの支援・協働〉
- (3) 吉田地区こども未来プロジェクト
地域行事等において吉田小の児童が主体的・自主的に関わることができる機会・場所の確保（保障）



交通安全見守り



学校運営協議会の様子



地区マスコット「ちご鳥」の披露

ミシン実習サポート



乗り物遠足付き添い

就学時健康診断補助



「吉田夏ゼミ2024」



実施日	実施会場	午前の部	昼食	午後の部
7月28日 (日)	田川(どんぐりの森公園 近くの池畔遊歩道橋下)	①田川の生き物観察 (9:30-11:30)	×	
7月29日 (月)	(午前) 吉田小体育館 (昼食から) 吉田西町 コミュニティセンター	②いろいろな新しいスポー ツに挑戦 A (1~3年) 吉田小体育館(9:00-12:00)	○	③いろいろな新しいスポー ツに挑戦 B (4~6年) (13:00-15:30)
7月30日	吉田西町コミュニティ センター	④楽しい科学実験 (9:30-12:00)	○	⑤丘中ダスク活動による企画 講座(13:00-15:30)
7月30日 (火)	(吉田地区公民館主催) 長野市松代地区	*象山地下壕見学 (9:00-12:00)		
7月31日 (水)	丘丘地区公民館 (えんてらす)	(信市中央公民館主催) ⑥短歌づくり (9:00-12:00)	×	サマースクール公民館 (13:00-14:30)
7月31日 (水)	吉田東公民館と 吉田小体育館	⑥園遊工作いろいろ A (9:30-12:00)	○	⑦園遊工作いろいろ B (13:00-15:30)
8月2日 (金)	吉田東公民館	⑧短歌づくり (9:00-12:00)	○	⑧ノートPCの故障と組み直し(4~6 年) & やさしい電子工作(1~3年) (13:00-15:30)
8月7日 (水)	セイコーエフソン 広丘事業所	⑩広丘事業所の見学 A (9:30-11:30)	×	
8月9日 (金)	セイコーエフソン 広丘事業所	⑩広丘事業所の見学 B (9:30-11:30)	×	
8月9日 (金)	(吉田地区公民館主催) 吉田地区センター		×	*夏の壁立観音(19:00-20:30) (50名程度に観覧)
8月11日 (日)	吉田小学校 校庭		×	⑨防災食体験&防災大会 (18:00-20:00)親子参加

「ちごちご広場」



長期休業以外の居場所の提供として、地域のボランティアグループ「ちごちご広場」が発足。現在月1回日曜日に開催、一緒にカレーを食べながら交流をしている。

本年度は「吉田小 CS 活動の柱」として3つのプロジェクトを立ち上げ、各プロジェクトの遂行をベースとした仕組みを再構成して活動を行いました。

学校における教育活動においては、例年と同様に、各学年の行事や活動の支援をはじめ登下校の見守りや就学時健診等子どもたちが安心安全に学校生活を送るために多くのご協力をいただき、大変ありがたく感じております。

「吉田夏ゼミ2024」では、多くの方々の協力を得て昨年度の講座をさらに充実させ、夏休みの子どもの居場所づくりとして講座を開設しました。昼食の提供がありどの時間帯から参加してもよいことから、多くの子ども達が参加し保護者の協力もいただいて、子どもたちにとって楽しい思い出づくりの場となりました。本年度はさらに地域のボランティアグループ「ちごちご広場」が新たに発足し、子どもたちと地域の方々との交流する場が増えました。



学校や家庭のニーズにともない、新たな取り組みを通して参加側(子どもたち)も推進側も充実感を持ち笑顔でふれ合えた一年でした。ボランティアとしての参加者を増やし、取り組みの輪がさらに広がることが求められています。子どもたちの安全を守り健全な成長を願って、学校と地域がより連携し、ともに豊かな生き方を得られる取り組みのあり方を今後も考えていきたいと思います。

令和5年度 吉田小学校

コミュニティ・スクール 活動の様子

交通安全教室



来入児健康診断



読み聞かせ



1年生公園めぐり遠足



2年生乗り物遠足



畑づくり



5年生ミシン実習サポート



やきいも会



5-1 ほうきづくり



6-3 職場体験



吉田コミュニティ・スクールゼミ

講座名	内容
セイコーエプソンを見に行こう	あの大きな建物の中はどうなっているの？どんな人がいて、何をしているの？身近なのに今まで謎だったセイコーエプソンの中に入れます。
松本国際高校 見学	高校ってどんなところ？小学校や中学校と違うところがあるのかな？施設探検
川での生物観察	暑い夏には水の中に入りたい！水の中には小さな生き物がたくさんいます。田川の生き物を観察してみよう。
スペシャルな夏休み講座A	午前：7:00～ラジオ体操 7:30～朝食 8:00～自主学習の時間 10:30～昼食づくり 12:00～昼食 午後：日替わり講座【楽しい短歌教室】
スペシャルな夏休み講座B	午前：7:00～ラジオ体操 7:30～朝食 8:00～自主学習の時間 10:30～昼食づくり 12:00～昼食 午後：日替わり講座【楽しい科学教室】
スペシャルな夏休み講座C	午前：7:00～ラジオ体操 7:30～朝食 8:00～自主学習の時間 10:30～昼食づくり 12:00～昼食 午後：日替わり講座【楽しい将棋教室】
スペシャルな夏休み講座D	午前：7:00～ラジオ体操 7:30～朝食 8:00～自主学習の時間 10:30～昼食づくり 12:00～昼食 午後：日替わり講座【ノートパソコンの中をのぞいてみよう】



「吉田コミュニティ・スクール」(夏ゼミ)では、多くの方々の協力を得て、夏休みの子どもの居場所づくりとして朝のラジオ体操から朝食昼食も含めた講座を開設しました。どの時間帯から参加してもよいことから、多くの子ども達が希望し、保護者からも感謝の声がありました。

学校における教育活動においては、遠足の引率、家庭科学習のサポート、中核活動の講師や体験の場の提供等、各学年学級の行事や体験学習の支援をはじめ、読み聞かせ、交通安全教室、就学時健診等の、子どもたちが安心安全に学校生活を送るための活動に多くのご協力をいただき、大変ありがたく感じております。

コロナの5類移行等の社会情勢や学校や家庭のニーズにともない、これまでの活動に加えて、内容の見直しや新たな取り組みも行った一年でした。毎日の登下校の見守り等、子どもたちの安全を守り、健全な成長を願って、学校と家庭と地域がより連携し合える取組のあり方を今後も考えていきたいと思っております。



令和4年度吉田小学校 コミュニティ・スクール 活動の様子



夏休みの宿題をやっつけろ！	夏休みの宿題を早めによっつけてしまおう！ すっきりした気持ちで夏休みに入りましょう！	全学年 各日20人まで 夏休みの宿題
セイコーエプソンを見に行こう！	あの大きな建物の中はどうなっているの？どんな人がいて、何をしているの？身近なのに今まで謎だったセイコーエプソンの中に入れます。	4～6年生 30人まで 帽子・水筒・筆記用具(リュックに入れて手を空ける)
丘中科学部と一緒に実験してみよう！	科学部のお兄さんお姉さんと一緒に簡単な実験をしてみます。	4～6年生 10人まで 炭酸飲料500mlの空のペットボトル
川での生物観察	暑い夏には水の中に入りたい！水の中には小さな生き物がたくさんいます。田川の生き物を観察してみよう。	全学年(1・2年は保護者同伴) 30人まで ぬれてもよい服・靴・タオル
ナースセンター時の駅見学	お仕事見学。訪問看護ってどんなお仕事かな？ちよっぴり体験してみます。	5・6年生 5人まで
今井医院 見学	お仕事体験。普段は、診察してもらっているだけだけど、診察する側の体験をちよっぴりしてみませんか。	5・6年生 5人まで
デイサービス 田川の郷見学	介護の仕事って!?デイサービスの利用者さんとの交流	5・6年生 10人まで
松本国際高校 見学	高校ってどんなところ？小学校や中学校と違うところがあるのかな？施設探検	5・6年生 10人まで
信州塩尻自動車学校見学	交通安全教室お世話になったところだけど、どんな施設があってどんなことをしているのかな？	5・6年生 10人まで
短歌を楽しもう！	難しく考えず楽しく気軽に短歌をつくってみよう！ 短歌を学ぶことで、言語感覚や語彙力を鍛えます。	全学年 10人まで

本年度の夏ゼミは、上記プラス公民館講座として星空観察会と親子で防災キャンプの計12講座を企画致しましたがコロナウィルス感染症の拡大により中止となりました。

吉田小学校の交通安全教室は、1・2年生が地域を歩いて交通ルールを学び、3年生が校庭に描かれた模擬道路で自転車の乗り方を学び、4・5・6年生が自動車学校で交通ルールを学びます。その交通安全教室のボランティアとして今年度は、保護者も参加してくださいました。また、来入見検診を含む検診のお手伝いに看護師さんに入っていただくこともできました。

児童数の多い学校ですが、登下校の見守りをはじめ地域の皆様のお力をお借りすることができ、大変助かっております。

交通安全教室



2年生乗り物遠足



6年生田植えと稲刈り



4年生ダンス



健康診断 来入児検診



歩みを止めない 吉田小学校コミュニティ・スクール

子どもたちの学びを見守り支えてくださるボランティアの皆様へ感謝



全校一斉発育測定では、記録や整列をお手伝いいただきました



交通安全教室では、道路上で安全を見守っていただきました



1年生の遠足では、道路や公園での安全を見ていただきました。ボランティアの方から「参加してよかった」の声もありました。



5年生の「総合的な学習の時間」では、建部社へ行き、宮司さんのお話をお聞きました。お祭りを大切にす
る気持ちが高まりました。



6年生は平出遺跡で校外学習。電車の乗り方などを見守っていただきました。

2年ぶりの吉田夏ゼミ

感染症対策をしながら、吉田っ子の夏休みを思い出深いものにする7種類の講座を開講。のべ114人の子どもが参加しました。



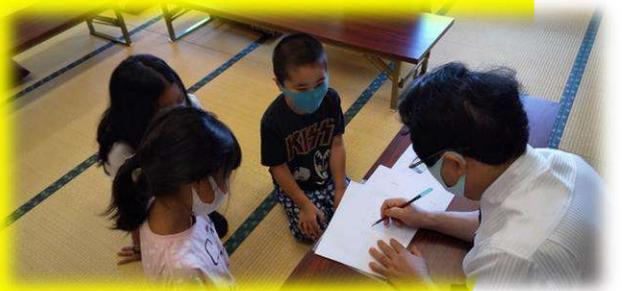
「夏休みの宿題をやっつけろ」では、一人一人が学習を進めました。困った時だけお手伝いをお願いするようにしました。



「ゴム動力飛行機を作って飛ばそう」では親子で参加した子どももいました。難しかった分、完成した時はうれしそうでした。



「セイコーエプソン広丘営業所のお仕事見学」では、いつもは外からしか見ることができない工場の中を探検できました。



吉田ならではの「短歌づくり」講座。いつもと違う先生や友だちと、新鮮な気持ちで短歌づくりに取り組みました。

この他に、南極観測隊のオンライン講演会、公民館と共催した信州まつもと空港の見学会なども行われました。



今年度は2年ぶりに夏ゼミを開催し、吉田小コミスクの象徴的な活動を継続できる見通しがもてました。感染症対策として人数や活動内容を制限しましたが、安全安心を担保しながらも充実した活動ができることがわかりました。

また、夏ゼミ以外の活動として、発育測定や来入児検診などこれまで学校が行ってきた行事にもボランティアの方がかわり、より円滑に正確に行うことができるようになりました。遠足等の引率補助では、子どもたちとの温かなかわりもできました。

今後は、ボランティアの皆様方との継続的なかわりにより「顔の見えるコミスク」「心のつながるコミスク」を目指していきます。また、夏ゼミをはじめとして学校と地域が一体になってできる活動を一層充実させていきたいと考えています。

臥薪嘗胆

吉田小学校コミュニティ・スクール

新型コロナウイルス感染症に翻弄された令和2年度。

吉田小学校も新年度が始まって3日後には臨時休校となりました。

5月の分散登校を経て、6月から一斉登校が再開。

学校は感染症対策を講じながら、毎日の授業や運動会や修学旅行、参観日などの行事に取り組んでいきました。一方で音楽会やPTAバザーのように行うことができなかったものもありました。

吉田小学校コミュニティ・スクールは「人との接触機会を減らす」ことを念頭にこれまでの活動をひとまず凍結しました。なぜなら、これまで学校の活動にご協力いただいていた学校支援ボランティアの皆様も多くはご高齢であり、感染リスクを高める活動は見送らざるを得なかったからです。

しかしながら、この間、何もしてこなかったわけではありません。

5月の分散登校中、まだ通学になれていない1年生を見守るため、登校時に交差点や横断歩道で交通安全指導を行いました。

一斉登校再開後、6年生が行った環境保全活動（ゴミ拾い）の見守りをしました。

夏以降は学校運営協議会会長と地域教育協議会会長が月1回の懇談を校長と行い、学校の置かれている状況や子どもたちの様子を確認し合い、今コミスクができることを検討してまいりました。その中で学校から要望のあった落ち葉掃きについて、学校支援ボランティアの有志で活動しました。

学校運営協議会を3回開催し、学校の運営方針の承認や意見交換を行いました。

また、来年度の「吉田夏ゼミ」にむけての企画委員会も定期的を開催しています。学運協で出された意見も取り入れながら、感染症対策をしながらできる講座についての検討を進めています。

今年は臥薪嘗胆の年。目に見える大きな活動や成果はありませんでしたが、次の時代を見据えてあり方を模索し続けました。

地域と学校が一体となって子どもの育ちを支えていける活動、吉田の未来を紡いでいける活動ができる日を待ち望んでいます。

そして、待ち望むだけでなく、今できることに気づき、考え、乗り越えていく活動を次年度も続けていきます。

年間活動報告

月日	項目	内容	備考(会場等)
5月19日	コミスク懇談会①	情報交換(休校中の学校運営・児童の様子等)	校長室
6月15日	コミスク懇談会②	情報交換(児童の様子、感染症対策等)	校長室
7月10日	学運協小委員会	学運協①の内容検討	校長室
7月29日	学校運営協議会①	学運協委員の任命・学校運営方針の承認等	多目的室
9月3日	コミスク懇談会③	情報交換(児童の様子、今後のコミスク活動等)	校長室
10月23日	コミスク懇談会④	情報交換(アクションプラン2021に向けて)	校長室
11月18日	学運協小委員会	学運協②の内容検討	校長室
12月4日	夏ゼミ企画委員会①	夏ゼミ2021実施の確認、方向性の協議	地区センター
12月17日	学校運営協議会②	夏ゼミ2021の方向性や内容について熟議	多目的室
1月20日	夏ゼミ企画委員会②	夏ゼミ2021の感染対策や可能な講座の検討	地区センター
1月29日	学運協小委員会	学運協③の内容検討	校長室
2月9日	学校運営協議会③	今年度のまとめ、夏ゼミ2021の方針確認 アクションプラン2021の検討	体育館 地教協と合同開催

※本年度中止となった事業

第1回学校運営協議会(4月16日予定)

第1回地域教育協議会(5月1日予定)

丘中学校区合同研修(7月29日予定)

吉田夏ゼミ2020(夏休み中を予定)

読み聞かせボランティア(通年を予定)

その他、各種行事・クラブ活動等への協力



学校支援ボランティアによる落ち葉掃き



校長による教育活動の報告(第2回学運協)

3年目の「吉田夏ゼミ 2019」

吉田小学校コミュニティ・スクール

のべ700人以上が参加する吉田の夏の風物詩！



吉田の人たちと料理を作ろう



おばけやしきをつくろう (吉田公民館)



田川での生き物観察



夏休みの宿題をやっつけろ！



地域めぐり～ふるさと吉田～



木で遊ぼう 木で作ろう



わら細工とハト笛づくり



みんなおいでよ 吉田っ子レストラン (吉田小 PTA)



ヒップホップダンス (田川高校ダンス部)



絵手紙を描いて送ろう



セイコーエプソンを見に行こう



今年で3回目となった「吉田夏ゼミ」。夏休み中の15日間に12種類の講座を開いたところ、これまでを大きく上回る、のべ762人の児童のみなさんと133名の支援者の方々にご参加いただきました。また、PTAや田川高校ダンス部、セイコーエプソン株式会社など、地元の団体や学校、企業にもご協力いただいたことで内容の幅が広がり、活動がいっそう豊かになりました。児童からは「学校ではできないことができてよかった」「来年も楽しみです」といった感想も聞かれ、夏休みのコミュニティ・スクール事業として位置づいてきたことをうれしく思います。

今後は地域の皆様が支援者としていっそう参加しやすくすることや地域の団体の皆様との連携を深めていくことを課題としながら、息の長い活動になることを目指していきます。

「吉田小夏ゼミ 2018」

吉田小学校コミュニティ・スクール

2つの会場、講座数10。開催日数のべ51日。のべ686人が参加！！



5月14日に第一回夏ゼミ実行委員会を実施。メンバーは、学運協会長、地教協会長、学校長をはじめとする15名。準備期間は短かったのですが、「子どもたちの夏休みの居場所を作る」の思いを一つに、熱い熟議が繰り返されました。

学習サポートの講座は2講座。参加人数はのべ465名参加。丘中、田川高、信大生、一般と多くのボランティアの方のおかげで分かる楽しさを味わえたようです。

(感想)・やさしく接して勉強を教えて下さったようで、楽しみに参加していました。長い夏休みに外でお友達と学習する時間を持つてとても良かった。



神様に守られた吉田のひみつの講座には、のべ11名参加。長者原と四ヶ村堰の2カ所で実施。吉田地区の旧道沿いにある神社を探しながら、地域の方の願いや思いに触れる機会となりました。

(感想)・自分の住んでいる地区の知らなかったことが知れて楽しかった。



むかしの吉田を紙しばいにして発表しようの講座には、のべ17名参加。吉田地区に伝わる昔話と吉田地区マスコット「ちご鳥」を取り入れたオリジナルの紙芝居作りを行った。丘中美術部や中学生のボランティアが多数参加。

(感想)・楽しかったと本人が言っていた。吉田の歴史「ちごちご」が知れたので。





ちご鳥水鉄砲射的（ぶっちゃけトークを含む）の講座には、のべ 33 名参加。ペットボトルで水鉄砲を作り、チームに分かれて水を思う存分かけ合いました。学校ではなかなかできない体験です。

（感想）・みんなで楽しくそして仲良くなれた気がします。いろいろな人と関わってみんなで楽しめたのでよかった。

こども食堂の講座には 3 日間でのべ 113 名参加。

（感想）・自宅ではなかなか経験させてあげられないことが出来、親子共々満足度が高かった。親を招待との記載があり、子どもからも伝達があったものの、詳細が分からずそのままになってしまった。親も参加すべきだったのか？子どもへの連絡をあてにせず、情報を明確に伝達して欲しかった。



食育講座（郷土料理）には、のべ 19 名参加。赤彦汁とおにぎりを作りました。

（感想）・アレルギーがあり、参加を考えたのですが、材料を吟味してくださり、お蔭さまで美味しくいただけました。講師の先生にも大変お手数をおかけしました。食器の片づけなど褒められたと喜んでおりました。



楽しい木工の講座には 2 日間でのべ 25 名参加。木の香りを楽しみながらドミノにしたり積み木にしたり好きな電車を作ったりしました。

（感想）・物作りが好きな息子なので、楽しめるかなと思い参加させました。木工でできた作品はとても素晴らしく本人も大満足だったようで、良い経験になったと思います。



○成果：中高大学生、地域のボランティアに数多く参加してもらい、子ども達は楽しく充実した時間を過ごせた。

△課題：2 会場での実施のため、ボランティアの確保が課題。参加の可否など事務手続きの煩雑さ。

■来年度に向けて：講座内容、ボランティア確保、事務の簡略化。

地域のために、地域とともに

吉田小学校コミュニティ・スクール

吉田マスコット

「ちご鳥」



学校運営協議会の取組み

《第3回学校運営協議会の様子》



学校運営協議会
串田会長の一言
学校と地域が絆
を大切に、より身
近に感じられる活
動にしたいですね。

- 1 第1回小委員会の主な活動（4月）
 - ・第1回学校運営協議会の役割分担確認
- 2 第1回学校運営協議会の主な活動（4月）
 - ・学校経営方針、学校運営計画の承認。グループワーク（目指す子どもの具体像）。
- 3 第2回学校運営協議会の主な活動（8月）
 - ・第1回学校運営協議会の内容報告。各校における地域教育協議会の取り組み発表。グループワーク（地域の良さを活かして、未来を切り拓く）
- 4 第2回小委員会の主な活動（12月）
 - ・2学期までの反省、熟議のテーマ検討。役割確認。
- 5 第3回学校運営協議会の主な活動（12月）
 - ・2学期までのCS活動振り返りと3学期の見通し。
 - (1) 学校評価では、CSへの理解が未だに低い現状。
 - (2) 来年度の学校運営では、ちご鳥の活用、PTAとCSの連携、ボランティア活動を広げていきたい。

6 第4回学校運営協議会の熟議題（予定）

「学校、PTAとCS（地域）との連携を高め、ボランティアを増やすために」

○付箋などを使い、地域の方に熟議に参加して頂き、吉田地区の良さを学校経営に取り込む準備が進んだ。学校の活動の様子をお便り等で積極的に知らせ、ご意見を頂けるようにする。
▲学校運営協議会と地域教育協議会のメンバーが異なり、相互の情報共有が不十分であった。熟議の経過やボランティア活動の様子を夏休み明けにまとめ配布したい。

地域教育協議会（学校支援活動・地域貢献活動）の取組み

《第1回地域教育協議会の様子》



《学習支援での将棋の様子》



《とっておきの話》「あのおじさんと、将棋やりたいよ。」(A君)「？」(先生)「遠足で約束したんだ。」(A君)「ボランティアの人？」(先生)「そう。」(A君) 乗り物遠足で仲良くなったボランティアのYさんと将棋をする約束をしていたようです。ボランティアの方と子どもの距離が近づいてきています。(右上の写真参照)



地域教育協議会
村田会長の一言

CSの活動と一緒に
取り組み、地域の
絆を強めましょう。

《安全見守り隊》



《乗り物遠足引率》



《松本マラソンへの協力》



《ちごちご配布・移植》



《稲づくり》



《田川の清掃活動》



《吉田大好きっ子プロジェクト》



○「学校の敷居が高い」と感じていたボランティアの方が、子どもと関わる機会を重ねるごとに、積極的に活動に取り組んでくださる方が増えてきている。広報の強化を進めたい。

▲学級、学年によりボランティアの活用度に差が見えてきている。今年のCS年間計画見直しを行い、学担もボランティアの方も時期や回数について、見直しをもって計画・実施できるようにしていきたい。



地域のために、地域とともに

吉田小学校コミュニティ・スクール

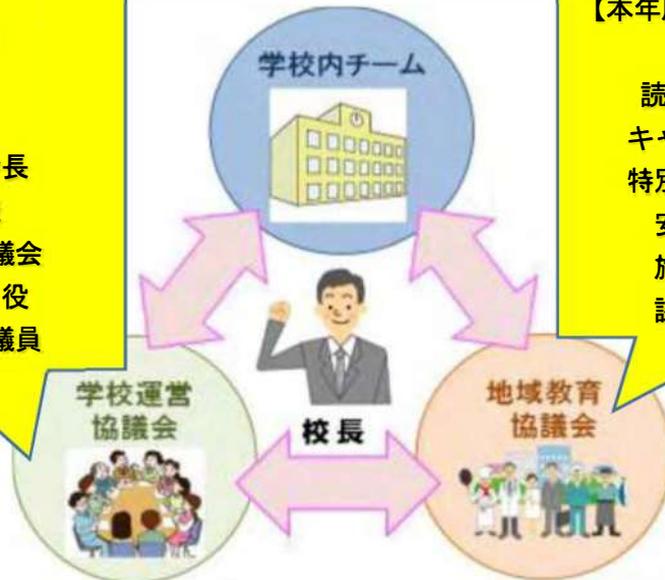


【構成メンバー】

- 副区長会長（筆頭）
- 公民館長
- 主任児童委員
- 民生児童委員地区会長
- 幼稚保育園長代表
- 子ども会育成連絡協議会
- 吉田小学校PTA3役
- 吉田地区選出市議会議員

【本年度の登録者数（重複あり）】

- 学習支援部…4名
- 読書活動支援部…34名
- キャリア教育支援部…1名
- 特別支援教育支援部…1名
- 安全安心支援部…7名
- 施設環境支援部…6名
- 課外活動支援部…3名



今年度の活動の様子

（ボランティアの数が少なく、活動ができなかった支援部もあります）

学習支援部

・担任だけではできない学習が、たくさんできました。



3年 田川の学習



2年 春の遠足



5年 稲刈り

【学習支援部の方が関わっていただいたこと（予定も含める）】

- ・遠足の付き添い・総合的な学習の時間・短歌づくり・交通安全教室（信州塩尻自動車学校）・米づくり
- ・スキー教室・スケート教室など

課外活動支援部

- ・金管バンドの練習や、演奏会の楽器運びなどでお世話になっています。
- ・相撲クラブでは「ぶつかり稽古」も体験しました。



クラブ 「相撲クラブ」



吉田地区文化祭での発表

読書活動支援部



「読書デイ」での読み聞かせは、本校のボランティア活動の中心です。

施設環境支援部



ちごちご園の看板を修理していただきました。



PTA作業でビバーの操作指導をしていただきました

安全安心支援部

- ・毎月の「交通事故0の日」には多くの方が見守り隊で関わっていただいています。
- ・あいさつの輪も広がっています。

【成果と課題】

- 先生方が、担当の学校支援コーディネーターに支援を依頼し実現することで、教育内容の幅が広がった。
- ▲ 地域教育協議会内にある各支援部が「横につながる（連携がとれる）」ように工夫していきたい。



地域の皆さんと共に歩む丘中学校

～丘中学校コミュニティ・スクール～

丘中学校が目指す生徒像

- 自律：自分で考え、判断し、行動する丘中生
- 尊重：互いのよさを認め合い、高め合う丘中生
- 自治：自分たちの力で、自分たちの生活をよりよいものにする丘中生

地域の活力を
地域の皆さんから
いただきながら

異世代交流の場 CS ルーム「松の間」オープン！

学校の願い

校内教育支援センター「すみれルーム」を利用している生徒に多様な他者との関りを提供して、居場所や学びの場を広げてほしい。

多様な学びの場を提供したい

世代を超えた交流を提供したい

学校をより楽しい場所に感じてほしい

コミュニティ・スクールの願い

- ・共創共学の視点から、学校敷地内に地域の方々が集うことのできる居場所をつくりたい。
- ・校舎内ではなく、ある程度地域で管理できる場所に部屋を確保して、放課後なども活用したい。(社会貢献サークル Dusk)

学校との一層の連携を模索する CS

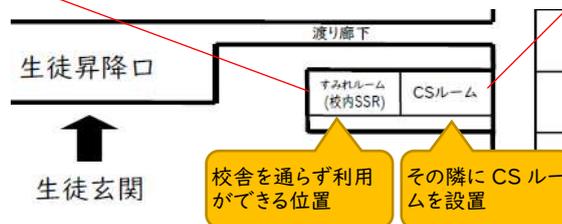
双方のニーズを解決する CS ルームの設置

- ・昇降口や校舎内を通らずに利用可能
- ・校内教育支援センターの隣に設置
- ・倉庫として使っていた部屋を改修(昨春秋)



- メリット①** 社会性が育つ
- メリット②** 地域の方が身近にいる安心感がもてる
- メリット③** 異世代交流を通じて地域の方と共に学び合える

- メリット①** 校舎内を通らずアクセスできるので活動しやすい
- メリット②** 学校の日常が見える
- メリット③** 異世代交流を通じて生徒と共に学び合える



新設した CS ルームは、学びや体験ができる社会貢献サークル Dusk の放課後の活動拠点として、また異世代交流の拠点「松の間」として活用されています。社会貢献サークル Dusk は水曜日の放課後に、「松の間」は不定期でそれぞれオープンします。

「松の間」は、地域の方が集って小物づくりやおしゃべりなどを楽しむスペースで、すみれルームを利用する生徒も関心を寄せています。実際に小物づくりやおしゃべりを楽しむ生徒も見られるようになってきました。

今後、すみれルームを利用する生徒と CS ルームを利用する方々との交流により双方のメリットが深まり、共創共学に向けた豊かな取組が育まれていくことを期待しています。

「カフェ丘」が来年10周年！生徒と地域の輪が広がり続けています

毎週水曜日、生徒たちの笑顔があふれる丘中学校の「カフェ丘」が、来年10周年を迎えます！地域の方と生徒が世代を超えて交流する、すっかりおなじみの光景です。

その活気は学校を飛び出し、3年前には「地域貢献サークル Dusk」も発足。さらに今年は、左のページで紹介した新たな交流拠点 CS ルーム「松の間」もオープンしました！校内教育支援センターの隣で、生徒たちと CS（地域）の皆さんの温かい交流が生まれることを願っています。

カフェ丘から始まった丘中学校 CS の挑戦は、10年経った今も、進化が止まりません！

カフェ丘



生徒も大人も楽しいひと時です！



地域貢献サークル Dusk



えびの子祭りへの協力
たくさんのちびっ子と触れ合いました



吉田夏ゼミに科学部が参加
楽しい科学実験に子どもたちも興味津々



つながろう片丘 OBの高校生とコラボして
風船バレーを楽しみました



野村夏祭りへの協力
出逢う笑顔が何よりの報酬です

丘中学校コミュニティ・スクールは、地域社会と学校との共創共学の精神を基盤に据え、生徒の主体性を引き出しながら地域への橋渡しをしたり、地域と学校とのつながりを橋渡ししたりなど、学校を核とした地域との共生を模索し続けています。

目まぐるしく変化していく社会や急速な生成AIの発達など、私たちを取り巻く環境はまさに予測困難なものとなりました。また、多様性を包み込むインクルーシブな社会が浸透し、様々な場が学びの場として位置づく時代です。

こうした社会の変化に主体的に関っていくことのできる学校づくり、そして地域づくりが急務となっている現状を見据え、今まさに学校や地域社会に必要とされる役割とは何なのかを常に模索しながら、子どもたちの笑顔を中心に置き、学校・家庭・地域のより良い連携を目指して丘中学校コミュニティ・スクールを進化発展させていきたいと考えています。

育みたい資質・能力〈市内共通〉

自律性を育む 〈自律〉

他者(もの・こと・人)との関係の中で、よりよさを追究し、自分で行動する力。
他者(もの・こと・人)との関わりの中で、自分自身のあり方を問いながら、自分の行動をよりよくつくる姿。

コミュニケーション力を育む 〈ことば〉

自分と相手とのやりとりを続ける中で自己理解・他者理解をする力。
子どもが、ことばを用いて他者(もの・こと・人)と適切に伝え合う姿。

創造力を育む 〈創造〉

自分にとって初めてのものや価値を創り出す力。
知識や経験、技能、感性等を駆使して、音楽表現、造形・絵画表現、身体表現、発想をする姿。

論理的思考力を育む 〈論理〉

知識や情報を生かしながら、対象がもつ文脈や構造を明らかにする力。
子どもが、既習の知識や経験を用いて、対象がもつ文脈を読み解いたり、問題を明らかにしたり、道筋を立てて問題を解決したりする姿。

探究力を育む 〈探究〉

物事の本質を探っていく力。
子どもが、物事の真相・価値・あり方について、意欲的・計画的に道筋をたどり明らかにする姿。

コミュニティ・スクール活動(生徒・学校・地域・保護者PTA・家庭)



定例CS会議
年4回開催



DUSK(ダスク)活動
*企画会議: 毎水曜日 15:30 から開催
*ダスク活動の



カフェ丘活動
運営: 毎水曜日 第2時休み時間と給食後の休み時間
★様々な人たちの交流活動

地域づくりに貢献する活動

企画から参加したり、やりたいことを地域(公民館)へ発信したりして生徒が主体的に活動する

塩尻市

吉田区
吉田小CS

- 玄蕃まつり
- えびの子まつり
- どんぐりの森まつり
- すみれの丘まつり
- 吉田地区文化祭
- 吉田防災まつり
- ちこちこ広場(こども食堂)
- 吉田夏ゼミ

片丘区
片丘小CS

- つなばらろう片丘開校記念の日
- たやけの丘コンサート
- 夏野菜でカシーを作ろう
- 片丘地区文化祭

野村区

- 片丘地区文化祭
- 野村夏まつり
- こまくさ野村まつり

◎学習支援

- 自習補助
- 課題・宿題などの手伝い

◎図書支援

- 図書館ボランティア 掲示物や装飾活動などの手伝い
- 読み聞かせ

◎キャリア教育支援

- マナー講座
- 職場体験学習
- 職業調べ
- 障害者施設での体験学習
- 老人施設での体験学習
- 小学校・児童館行事への参加
- 保育園での体験学習
- 児童館で小学生の学習指導

◎部活動

- 地域指導員
- 外部講師

◎学校施設環境整備

- 資源物回収
- PTA作業
- ゴミ拾い登校
- 花壇作業(花の苗)
- 学校敷地内環境整備

地域住民が学校に入る活動
学校施設内で
先生方や生徒の教育活動の手伝い(help)・支援(support)・アシスト(assist)

2025(令和7)年度 丘中学校CS活動 年間活動計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事 会合等	入学式(4日) PTA総会(30日) 学校運営協議会① (14日18:00-) カフェ丘ミーティング④ (15日16:30-) 年度初め休業(～3日)	生徒総会 交通安全教室 参観日(部活動)	中体連各種大会 1年宿泊学習	2年宿泊学習 夏休み (7/25-8/24) 学校運営協議会② (学校職員参加) (8/27 15:40-) 夏期休業(7/25～8/24)		松参祭 (含:CSフェスタ) 9/26(金)～ 27(土)	(10/31) 参観日 PTA講演会	学社連携フォーラム (県教委主催・総セ) 11/14(金)	保護者懇談会 学校運営協議会③ (12/9 18:00-) 年末年始休業(12/24-1/6)	冬休み 新入生保護者説明会 カフェ丘ミーティング④ (1/27 15:30-)	参観日 前期選抜 学校運営協議会④ (2/12 18:00-)	後期選抜 卒業式 (3/18) (3/19-) 年度末休業
カフェ丘活動		毎週水曜日										
DUSK ダスク 活動		休み時間に実施 (二時休み、昼休み) 7,14,21,28日 放課後 Dusk(ダスク)活動	3年⇒2年⇒1年の順 4,11,18日	2,9,16,23日	27日	3,10,17,24日	1,8,15,22,29日	5,19,26日	3,10,17日	7,14,21,28日	4,18,25日	4,11日
読書支援	装飾作成										蔵書点検・図書館整備	
安心安全	登下校見守り											
学校環境	春花壇づくり		校地境の草取り 夏花壇づくり	剪定作業		秋の花壇づくり			花壇の片づけ			
PTA活動		PTA作業① 5/25(日)				PTA作業② 資源物回収 9/7(日)						
地域ボランティア 生徒会活動												

玄蕃まつり、吉田まつり、野村夏まつり、えびの子まつり、どんぐりの森まつり、こまくさ野村まつり、すみれの丘まつり、吉田地区文化祭、片丘地区文化祭、広丘地区文化祭、吉田小夏ゼミ、マレットゴルフ、広丘駅イルミネーション、日時計を見る会



吉田地区文化祭への参加



夕やけの丘コンサートへの参加
能登豪雨災害義援金もたくさん集まりました！



おさがり会への参加



田川の郷デイサービスお祭りへの参加

居場所づくり、切り替えの場としての「カフェ丘」



毎週水曜日の休み時間にオープンする「カフェ丘」。今年も多くの生徒が利用し、地域の皆さんとの交流が生まれました。ちょっと気持ちを落ち着けたい時の居場所としてもありがたい場所となっています。

予測困難な社会の変化に主体的に関っていくことのできる生徒を育成するために、地域の方との共創共学を大切にしながら活動を進めてきました。「社会貢献サークル Dusk」では、3年生を中心とする有志が集い、まさに主体的に貢献活動に取り組む姿が見られました。地域に根付く様々な行事に参画することを通して、地域の願いに共感することができたり自己有用感を得ることができたりなど、学校の中ではできない学びが育まれています。

学校運営協議会の皆様をはじめ、多くの学校支援ボランティアの皆様と協働して進めている本校のカフェ丘も、本年度で8年目を迎えました。地域の子は地域で育てるという精神の下で昨年立ち上げた Dusk も加わり、本年度は地域への貢献に軸足を置いて新たな方向性が見えてきています。多様性の尊重やそれに伴う子どもの居場所づくり、部活動の地域移行など、学校教育のあり方が大きく変わろうとしている今、地域との共創共学をどのような形で具現していくことができるかが大きな課題です。子ども達の笑顔を中心に置き、学校・家庭・地域のより良い連携を今後も目指していきたいと考えています。



地域の皆さんと共に歩む丘中学校

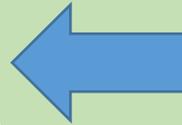
～丘中学校コミュニティ・スクール～

丘中学校が目指す生徒像

自律：自分で考え、判断し、行動する丘中生

尊重：互いのよさを認め合い、高め合う丘中生

自治：自分たちの力で、自分たちの生活をよりよいものにする丘中生



地域の活力を
地域の皆さんから
いただきながら

「カフェ丘」の組織を活かした新たな展開

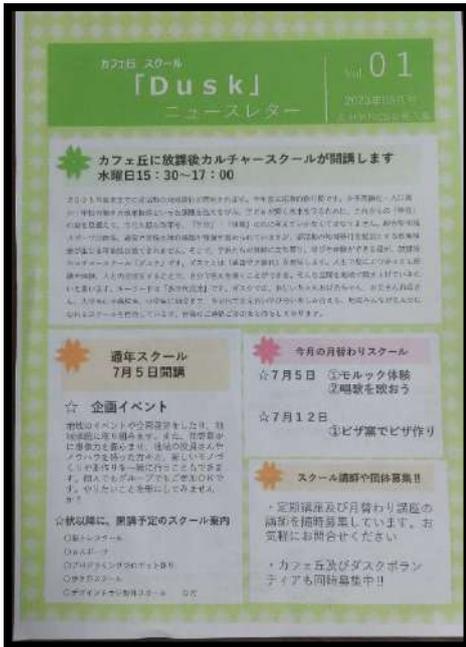


「カフェ丘」の皆さんが、子どもの居場所について考えてくれました。その名も「Dusk・ダスク」
「地域の子は地域で育てる」第一歩がスタートしました。



毎週水曜日の休み時間「カフェ丘」がオープンします。生徒と地域の皆さんが「もの」「こと」「ひと」を通して、かかわりを広げたり深めたりする時間となっています。

居場所づくりとして「Dusk・ダスク」カフェ丘スクール開講



企画イベントに集まった生徒たち



吉田地区の夏まつりへの参加



主体的に自らの生き方を学ぶ



地区イベントの計画立案・運営



地区生徒会主催 地域コンサート



その道のプロから教わり、自らを高める



従来から行われていた活動のほかに地域の皆様のご支援により、少しずつ新たな方向性が見えてきた今年度。来年度に向けた環境づくり（持続可能な取り組み、「もの」「こと」「ひと」とのかかわりや広がり）が重要になってきています。



地域の皆さんと共に歩む丘中学校

～丘中学校コミュニティ・スクール～

丘中学校が目指す生徒像

自律：自分で考え、判断し、行動する丘中生

尊重：互いのよさを認め合い、高め合う丘中生

自治：自分たちの力で、自分たちの生活をよりよいものにする丘中生

地域の活力を
地域の皆さんから
いただきながら



祝4周年「Café 丘」



「Café 丘」に来校されていた地域の皆さんと生徒と一緒に花の苗を植える活動がスタートしました。また、コロナ禍の学校のことを心配して、放課後の消毒作業にもご協力をいただいています。

地域の皆さんの姿をみて、地域をきれいにする活動、自ら地域行事に参加する生徒もいます。「Café 丘」の輪が地域全体に広がってきています。



CS活動の中心は「Café 丘」

「Café 丘」から広がる活動の輪

「Café 丘」から広がった活動の輪 継続・充実・新たな形へ



継続して、「エコ・キャップの運搬」「図書館装飾」も行っていただいています。装飾の作品は生徒が作成したものとボランティアの皆さんが作成したものを組み合わせたコラボ作品です。



その道のプロから学ぶ 短歌教室



その道のプロから学ぶ 書道教室

その道のプロから学ぶ キャリア教育

新たな形

学校運営協議会で部活動地域移行を検討



令和4年度は考えてきたことが少しずつ動いてきた一年でした。しかし、この先もコミュニティ・スクールの活動がよりよく継続していくために、私たちはどうしていけばよいかを真剣に考える時期にきています。ボランティアの皆さんの固定化、保護者のニーズ、生徒の願い、少子高齢化社会における社会問題等、課題は山積みですが、丘中学校の生徒が「主役となり、日々笑顔で過ごすことができる」ことを最優先に考え今後も無理なくできる範囲の中でコミュニティ・スクール活動に取り組んでいきたいと思ひます。

地域の皆さんと共に歩む丘中学校

～丘中学校コミュニティ・スクール～

地域ボランティアの皆さんに支えられて（環境整備・読書支援）



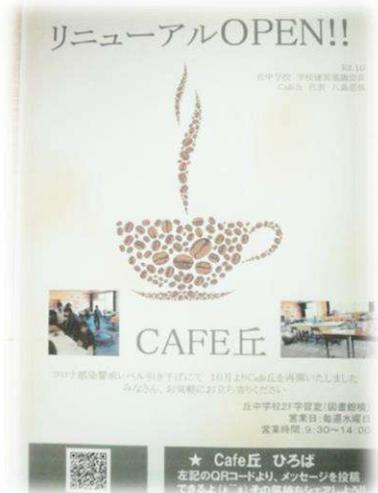
本年度は地域ボランティアの方に「花の苗」や「エコキャップ」を運んでいただきました。また、例年どおり図書館前に掲示物を作成していただきました。生徒も興味深く掲示物に関心を寄せていました。

地域貢献（地域の催しや文化祭への参加）



科学部の皆さんが地域の公開講座に参加し、参加された皆さんに日頃の研究の成果や科学実験を発表しました。また、地区の文化祭では受付を担当したり、作品を展示したりしました。

コロナ禍でも感染対策をして「Café 丘」を開店しました。



地域の皆さんと生徒が、学校のこと、地域のこと、自分のこと、将来のことを語り合う。そして、遊びながら人間関係づくりを構築していく場として機能しています。地区懇談会の中でも Café 丘の取り組みを紹介しました。



Café 丘の取り組みがマスコミに取り上げられ、県外の市会議員の皆さんが視察のため来校されました。実際の様子をご覧になり、学年問わず生徒が地域の方とかかわる姿を見て感心されていました。

今年度もコロナ禍のため難しい年でもありましたが、Café 丘の取り組みを通して地域とのつながりが生まれ、生徒が地域のために何ができるか、じっくりと考え行動しようというところまで来ています。令和4年度は考えたことを実行に移す年になりそうです。地域の皆さんの声を受け止め、地域に大いに貢献することができる丘中学校を目指していきたいと思います。

オンライン de つながる保護者 Cafe (塩尻市立丘中学校)



地域の方との交流の場である Cafe 丘のオープン企画としてZOOMを利用してオンラインで実施しました。コロナ禍における子育ての悩み等について参加者同士で語り合いました。

感染防止対策も万全に「Cafe 丘」再開



地域住民が自由に行き来できる「Cafe 丘」を学校内に設け
地域ぐるみで生徒を育てていく拠点として



保護者の皆様へ
生徒の皆さんへ

今年もCafé丘始まるよ♡
気軽に楽しもう！！

場所: 二階図書館横、学習室

Café丘

- 自由な交流スペース
- 居場所や休憩に
- 地域の方とおしゃべりに
- イベント場所に
- 教室とは、ちょっと変わった空間として

10月21日(水)
いよいよ開店！！

毎週水曜日 9:30～13:00

※感染対策実施いたします！！
マスク着用・手指消毒設置・体温測定・地域来店者記名
今年度は、飲み物は提供いたしません

丘中学校長 佐倉 俊
Café丘代表 八島 悠保

地域との交流（ボランティア）の様子（塩尻市立丘中学校）



片丘地区文化祭

ボランティアとして参加し、展示室の見守りやお茶のお運び、片付け等のお手伝いをさせていただきました。

吉田地区文化祭

受付・会場係として生徒達がボランティアとして参加しました。また、自分達で作ったグッズを販売させていただきました。



地域で活躍する先輩達から学ぶ様子



丘中創立70周年に向けて

- ①人物を辿る
- ②校歌・校章・制服の歴史
- ③校舎・部活動の歴史
- ④資料から歴史を辿る・行事の歴史
- ⑤丘中学校周辺の自然
- ⑥遺跡の歴史・学校の宝探し
(3学年総合的な学習において)



様々な分野で活躍する先輩から話を聞き、その思いや歴史について学び、後輩に伝えようと意欲的に取り組む姿が見られました。



地域とつながる「カフェ丘」(塩尻市立丘中学校)

休み時間開始と同時に部屋へ飛び込んできた生徒が「なんかホッとする。」と地域の方と話しながら飲み物を飲んでいきます。本校の学習室をカーテンで半分に仕切り「カフェ丘」を開設しました。ここにはカフェスペースや卓球台、読書スペースなどがあり、生徒の息抜きの場、地域の方との交流の場と活用しています。



カフェ丘の休み時間の様子

カフェ丘は生徒の息抜きの場、地域の方との交流の場としてだけではなく、一緒になって作り上げていく居場所となっています。昨年より有志生徒が看板や卓球台を手作りで製作したり、運営内容について考えたりして準備しました。



生徒の手作り看板

「カフェ丘」は7月末からオープンし、毎週(水)(木)の午前中に開店しています。地域教育協議会をはじめ、保護者の有志の方々や活動に賛同する地域住民が交代で店員を務めています。

そして、「カフェ丘」は様々な生徒の居場所にもなっています。2時間目まで「カフェ丘」で過ごし、3時間目に自分の教室へもどっていく生徒もいます。

「地域の方とたくさんおしゃべりすることで、気持ちが落ちついて良かった。」とつぶやいて教室に向かう生徒の顔は、とてもすっきりしていました。



開店準備の様子



地域ボランティアの打ち合せ

地域住民が自由に行き来できる「カフェ丘」を学校内に設け、地域ぐるみで生徒を育てていく拠点としていきます。新しい試みとして始まったばかりですが、様々な課題を修正しながら生徒ファーストで有効活用を目指していきます。

地域との交流の様子（塩尻市立丘中学校）

5月

すみれの丘まつりでは、手作りうどんの準備を地域の方と一緒に取り組みました。おいしいうどんをお客様に食べていただきました。



すみれの丘まつり



日時計を見る会



えびの子まつり



こまくさ野村まつり

7～8月

こまくさ野村まつりでは、吹奏楽部の演奏や物品販売の手伝い等を行い、地域の方とともに、まつりを盛り上げようと努力しました。

9～10月

松本マラソンのボランティアでは、丘中の活躍が高く評価されました。薬草集荷のように良き伝統となることが期待されます。



松本マラソン



薬草集荷



吉田地区文化祭



地域の方への呈茶会

10～12月

吉田地区文化祭では、丘中生の献身的な働きを地域の方から大いに褒めていただきました。

童謡唱歌まつりでは、3年生が素敵な歌声を発表し、賞賛の拍手や声を多数いただきました。

人権講演会では、吹奏楽部がNPO法人ケ・セラとのジョイントコンサートを行い、音楽を通して人と人とのつながりの大切さを学ぶことができました。



童謡唱歌まつり



人権講演会

地域や家庭の支援により伝統をつなげる丘中学校 2018

丘中学校コミュニティー・スクール

キャリア教育

～伝統的に続いている薬草集荷を通して～



ふるさとの良さ・大切さを活動を通して学ぶ姿
地域を知る学習をおこなうことで誇りや愛着を持つ生徒



平和教育

～身近な地域の歴史から 地域との交流を通して～





地域の方からふるさとの話を聞きふるさとに学ぶ姿
地域の施設を活用して学んだことを地域に発信する生徒



ボランティア活動 ～地域に感謝・貢献する活動を通して～



○地域に出かけての活動が定着しつつある。地域の一員として、自らも貢献できているという意識が芽生えつつある。その結果、進んで地域の行事に参加できる生徒が増えてきている。

▲自分達の地域の課題や問題点を見つけ、その解決のために地域貢献できるようにすること。

■地域に出かけての活動が定着しつつあるが、自分たちで企画し、運営のお手伝いをするというところまでは至っていない。自ら積極的に地域の行事に参画していく姿を更に育てていきたい。

2017年度 丘中学校コミュニティ・スクール

～地域や家庭の支援により伝統をつなげる丘中学校～

学校運営協議会

- 1 第1回学校運営協議会（4月）
 - 丘中学校の目指す生徒像について（熟議）
 - 2 第2回学校運営協議会（7月）
 - ◎丘中学校区3校合同
 - 丘中学校区で目指す子ども像について（熟議）
- ・ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き、語る子どもの育成
 - ・心身ともに健やかで、多様な人と協働して活動できる子どもの育成
 - ・自己実現に向け、主体的に学び続ける子どもの育成
- 3 第3回学校運営協議会（12月）
 - 2学期までの活動の成果報告と今後の課題について
 - 4 第4回学校運営協議会（2月）
 - 来年度の展望について
 - 5 臨時学校運営協議会（11月）
 - 不登校生徒についての情報共有と地域での見守りのお願い

千村 功 学校運営協議会長より

丘中に関わって3年になりますが、丘中では地域貢献をはじめ着実にコミュニティ・スクールが位置づいてきたと思います。運営協議会では「丘中生の目指す子ども像」についてそれぞれの立場の代表の方々から多数の有益なご意見をいただきました。これからも丘中生のため、熟議を積み重ねていきたいと思っています。



地域教育協議会

- 1 第1回地域教育協議会（5月）
 - 生徒への紹介式、支援部ごとの打合せ
- 2 第2回地域教育協議会（2月）（予定）
 - 今年度の反省と来年度の展望について
 - 各支援部の活動についての情報交換と共有



3 校内支援の様子



週2回の放課後学習支援



学習支援ボランティアによる古典入門講座



地域の方による進路講話



各クラスでの読み聞かせ



月2回の図書館作業ボランティア



片丘地区でのオオバコ集荷

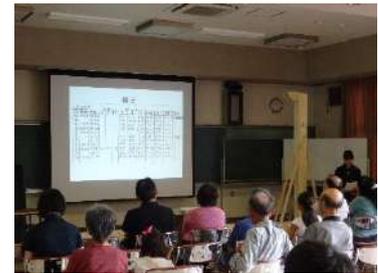
4 生徒が地域の一員として感謝・貢献する活動



第1回松本マラソンのボランティア



地区のお祭りへのボランティア



科学部の地区での発表会

ちょっといい話

台風21号により、脱穀もすまな
いはぜかけが倒れてしまった。は
ぜかけの作業をしていると、下校
途中の中学生が進んではずかけ
を真っ暗になっても最後まで手
伝ってくれた。(地域の方より)

池上 良満 地域教育協議会長より

丘中に来て生徒と関わっていただいているサポーター
の皆さん、また、地域に出て活動する丘中生を温かく
見守り、支援していただいているサポーターの皆さん
いつもありがとうございます。おかげさまで、「地域
に生きる丘中生」に育ちつつあります。今後ともよろ
しくお願いします。



成果と課題

- 地域に出かけての活動が定着しつつある。地域の一員として、自らも貢献できているという意識が芽生えつつある。その結果、進んで地域の行事に参加できる生徒が増えてきている。
- 放課後学習支援や長期休業の学習支援を活用する生徒が定着しており、個別の学習支援をしていただき、学力を支えていただいている。
- ▲地域に出かけての活動が定着しつつあるが、自分たちで企画し、運営のお手伝いをするというところまでは至っていない。自ら積極的に地域の行事に参画していく姿を更に育てたい。

2016年度 丘中学校コミュニティ・スクール ～地域や家庭の支援により伝統をつなげる丘中学校～

平成28(2016)年4月に塩尻市内の全小中学校でコミュニティ・スクールがスタートしました。丘中学校においても、平成28年4月4日に第一回学校運営協議会が開催され、市教育委員会より「学校運営協議会設置学校指定書」が交付され、約30名の「学校運営協議会委員」が任命されました。

コミュニティ・スクールは、地域の持っている様々な教育力を学校に活かして、児童・生徒の社会を生き抜く力を育成する仕組みです。

丘中学校では、開校当初から伝統的に続いている「薬草集荷」などの活動に加え、「読み聞かせ等の読書活動」や「部活動への支援」、「放課後学習支援」などを中心に学校支援ボランティアの皆さんに協力していただきながら、「地域教育協議会」において7つの支援部を立ち上げました。



学校運営協議会設置学校指定書の交付

今年度の活動の様子



第1回地域教育協議会 (学校支援ボランティアの方々の生徒への紹介と支援部ごとの打合せ会)



学習支援部



短歌づくりへの支援



週2回実施の放課後学習支援事業

平成28年度「塩尻市放課後学習支援事業」の指定校となり、中学校3年生を対象に原則月曜日と水曜日の週2回、放課後60～90分程度「学習支援ボランティア」の先生方による学習支援を実施しています。長期休業中や個別懇談会中も実施することができました。

読書活動支援部



各クラスでの読み聞かせ

読書活動支援部の皆さんは、学期に1度の各クラスでの読み合わせ活動の他に、月に2回程度、蔵書点検や図書館内外の環境整備活動に取り組んでくださっています。図書館前の掲示は立体的になっていたり、生徒が実際に手に触れたりすることができるような工夫もされています。



図書館作業ボランティア↑と図書館前の掲示↓



キャリア教育支援部

開校以来の伝統的な薬草集荷



片丘地区オオバコ集荷



丘中薬草園の看板設置



カララヨモギの集荷

課外活動支援部



茶道部への支援

中学生にとって、中学校生活の中で大きなウエイトを占める部活動においても多くの皆様に外部コーチの登録もいただき、活動の支援をいただいております。

地域に感謝・貢献する活動

今年度、丘中学校では地域の方々に支えられるだけではなく中学生としてできることを考え、地域に積極的に出ていく活動にも力を入れてきました。地域からの要望に応え、部活動を単位として「アレチウリの駆除」や「土手まつり」や「地区の文化祭」へのボランティア活動、3年生は学級単位で「総合的な学習の時間」での地域への貢献を目指してきました。



科学部が参加したアレチウリの除去



陸上部が参加した地区の文化祭



3年生の広丘駅前へのプランター設置

成果と課題

- 週2回の3年生の放課後学習支援事業が定着し、やる気をもって参加している生徒の姿に「感動をもらっている」という声を学習支援ボランティアの方からお聞きすることができました。約3分の1の3年生が活用しています。
- 図書館作業ボランティアでは、2学期に入って時間を延長してもらっています。お互いにプラスになっていると感じます。
- ▲各支援部の具体的な活動について、情報を共有しあうこと（横の連携）が必要になってきていると感じました。

《特別寄稿》コミュニティ・スクールの10年を振り返る

片丘小学校 CS会長 小松 秀樹



片丘小学校のCSでは、会議の前に全員で片丘小学校の校歌を歌います。片丘の子ども達を地域の真ん中に置き、子ども達と共に学校や地域で「片丘愛」を育んでいきたいという思いからです。ボランティアの皆さんも、子ども達を温かく囲んでくださっています。

10月の土曜日には「つながろう片丘 開校記念の日」を開催しており、学習成果の発表、地域イベント、公民館の「夕やけの丘コンサート」など、片丘で最も大きなイベントとなっています。児童や保護者はもちろん、保育園児や地域の皆さん、中学生や高校生も参加しています。開催に向けて、実行委員会を何度か開いて準備を進めています。夏休みには、子ども達の夏の思い出づくりとなる企画も行っています。

当コミュニティ・スクールが学校を核とした地域づくり「スクール・コミュニティ」につながればと思います。

片丘小学校 CS副会長 山崎 昭子



学校運営協議会が片丘小に設置された当初から関わっていますが、最初は何をするのか、又、何の目的で行われるのか、わかりませんでした。塩尻市で出された第二次教育振興基本計画が策定され、基本理念「一人ひとりの育ちに、ていねいに向きあう教育」又、育てたい人間像として、1「社会を生き抜く力」、2「郷土を知り誇りと愛着を持ったひと」が掲げられ、協議会の会を重ねるごとに少しずつですがわかってきて、学校と児童が地域に目をむけるようになり、また、地域、ボランティアの人たちが学校に目を向けるようになりました。

片丘小学校150周年を迎え、それを機に、学校が中心になり、地域・児童・保護者・ボランティアの方々と一緒に、「つながろう片丘開校記念の日」が立ち上がりました。とてもすばらしい事業だと思えます。この事業を通して新しい学校を創っていくことに少しでもお役に立てればと思います。そして片丘が学校を中心に住みたい地域になって行く事を願っています。

吉田小学校 CS会長 岩井 雄一郎



区長に就任すると同時に、吉田小学校の学運協会長にとの連絡が。学運協って何か当時は知りませんでした。吉田に住み始め、学校との接点が無かったからです。少し勉強して夏ゼミを行っていることを知り、ラジオ体操、昼食会、勉強や元気に遊ぶ風景も眼のあたりにしました。

2年前にこども未来、こどものやすらぎ、学びお助けの3つのプロジェクトを新設。それぞれのメンバーが中心となって行事を実行していくようにしました。丘中生徒による支援活動、田川生き物観察、ノートパソコンの解体、将棋、俳句、エプソン広丘事業所見学等、多くの支援をいただき暑い中でも子どもたちの生き生きとした姿に感激。今後も楽しみながら一緒になって活動していきます。

吉田小学校 CS副会長 熊澤 千奈美



吉田小コミュニティ・スクールを構成する3プロジェクトの一つ「やすらぎプロジェクト」でこども食堂「ちごちご広場」を立ち上げて3年目になりました。毎月最終日曜日に吉田東公民館で主にカレーや炒飯などを提供しています。

協力してくださるスタッフは10人を超え、校長先生も調理に加わってくださる中で、学校に行かれない子どもさんが校長先生とテーブルを囲んで会話を楽しんでいる姿が見られるようになりました。最近は開場前に来て、会場づくりから野菜洗いなど自分たちができることでお手伝いをしてくれます。

初めて出会った頃は上目遣いで無口だったその子が、今では元気に挨拶してくれるようになり、その成長が嬉しく、学校と地域の協働体制の大切さを感じています。

吉田小学校 CS副会長 荻無里 立人



子どものPTAで毎月吉田小に通ったのはもう20年以上前のことでした。このことがきっかけで都合7年間PTAに関わることになり、PTAは「すべては子どもたちのために」の一点で活動する組織であることを学びました。今年から吉田地区の公民館役員になったため、CSに関わることになりました。学校と子どもたちを取り巻く環境が20年前とは全く違うことは分かっていたのですが、それは予想を超えていました。

学校や子どもたちの環境を地域だけで作ることはできないとしても、地域も「すべては子どもたちのために」の視点で課題を明らかにして解決に向けた方策を少しでも前に進めることができればと思っています。

丘中学校 CS会長 手塚 優子



私がCSの会長になった時、前会長が開いた『カフェ丘』のおかげで、丘中学校には地域の人が学校にいるのが当たり前なことに驚きました。カフェ丘の準備のために学校に行くと、「こんにちは！」という生徒と先生の元気な挨拶が私たちを迎えてくれます。学校とは縁遠くなった私のような普通の地域住民でも、学校でできることがあるのは嬉しく有難いです。地域に開かれた丘中学校に、今年『松の間』という地域の人誰でも利用できる居場所ができました。ルールはたったひとつ。いつでも生徒が自由に遊びに来れることです。家族や先生でない大人と生徒が触れ合うことのできる居場所をもっと地域に知ってもらい、丘中学校に関わる人を増やしていきたいです。

丘中学校 CS副会長 北濱 博義



丘中で組織された学校運営協議会委員となり、コミュニティ・スクールとカフェ丘にも関わらせてもらうようになってから、かなりの年数が経っていますが未だに、委員として何をすべきかといった基本的な役割が漠然としたままです。そんな中で最近感じていることは、カフェ丘の開設時間が水曜日2時間目後とお昼休みのわずかな時間だけなのに、生徒たちが実に嬉々として遊びに熱中してくれていることです。100均で買ったという子供だましみたいなチャチな遊具や、手作りの小さな卓球台でも、力を加減し、時には思い切り力を発したりして楽しんでいるのを見ると、できることなら毎日でも開設してやりたいと思うくらいです。

学校支援コーディネーター 池上 良満



平成27年度の1年間で市内小中学校全校を対象に、学校運営協議会と地域教育協議会（地域学校協働本部）の立ち上げ準備を完了し、翌平成28年度から市内小中学全校が市からコミュニティ・スクール指定を受け活動を開始し本年度で早10年が経過しました。

この間各校では特色ある地域学校協働活動が展開され、地域と学校とのつながりがより強固なものとなってきたように思えます。

学校も含めた地域が、優しい温かい心で結ばれた安心安全で幸せに暮らせる地域となるのが、コミュニティ・スクールの大きな目的です。

まだまだ10年です。これからもこの大きな目的に向けて力を合わせ、心豊かで温かな、だれにも優しい地域づくりをしていきたいものです。

● 参考「地域と学校とで協働して育てたい子どもの姿」〈2017（平成29）年度策定〉

〈塩尻東小〉

- 自他を大切にでき、思いやり溢れる子ども〈自尊感情と愛他心の育成〉
- 心身ともに健康で、元気で意欲的な子ども〈前向きな生き方・人間関係構築力の育成〉
- 主体的に学び、チャレンジする子ども〈課題発見力・解決力や行動する力の育成〉

〈塩尻西小〉

- 自他を大切にでき、思いやり溢れる子ども〈自尊感情と愛他心の育成〉
- 他とのつながりを大切にしながら自分を的確・適切に表現できる子ども〈人間関係構築力の育成・人権感覚の育成〉
- あきらめず、前向きに生きられる子ども〈成功体験・チャレンジ精神の育成〉



〈塩尻中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切に、様々な人と協働して活動ができる子ども〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性、自立心・自律心の育成〉

【塩尻中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 多様な人と協働しながら主体的に活動できる子どもの育成
- 心身ともに健やかで、自己実現に向け学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

〈桔梗小〉

- 心身ともに健やかで明るい子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 笑顔があふれ、心が優しい子ども〈前向きな生き方・人間関係構築力の育成〉
- 憧れを持ち、夢に向かう子ども〈より高い生き方を求め行動する力の育成〉

〈広丘小〉

- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大事にする子ども〈人間関係構築力の育成〉
- よく学び、体を鍛え、夢に向かい進む子ども〈学力向上・体力向上・キャリア教育推進〉
- 相手の気持ちが分かり、協調して活動ができる子ども〈愛他心・協調性・チームワーク〉

〈広陵中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切に、様々な人と協働して活動ができる子ども〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉



【広陵中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 多様な人と協働して活動できる子どもの育成
- 様々な課題を解決しながら、自己実現に向けて学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

〈片丘小〉

- 心身ともに健やかで明るい子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大切にする子ども〈人間関係構築力の育成〉
- 主体的に学びに向かう子ども〈課題発見・解決力、自学力の育成〉

〈吉田小〉

- 社会の基本的ルールやモラルが守れ、相手を思いやれる子ども〈社会力・人間力の育成〉
- 自分の将来を描き、それに向かい動く子ども〈学力向上・体力向上・キャリア教育推進〉
- 自他の気持ちを理解し、協調して活動ができる子ども〈自尊感情・愛他心・協調性の育成〉

〈丘中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども
〈自尊感情の育成、自他を思いやる心、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども
〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切にし、様々な人と協働して活動ができる子ども
〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども
〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉



【丘中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 心身ともに健やかで、多様な人と協働して活動する子どもの育成
- 自己実現に向け主体的に学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

〈宗賀小〉

- 心身ともに健やかで元気な子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 思いやりにあふれ、助け合える子ども〈愛他心・協調性・人間関係構築力の育成〉
- 主体的・自主的に学べる子ども〈課題発見・解決力の育成、自学力の育成〉

〈洗馬小〉

- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大切にする子ども
〈自尊感情や愛他心の育成、人権感覚の育成、人間関係構築力の育成〉
- 主体的・自主的に学び、夢に向かい進む子ども
〈課題発見・解決力の育成、自学力の育成、キャリア教育の充実〉
- 自分の考えを的確に適切に伝えながら、他と協調して活動ができる子ども
〈コミュニケーション力、愛他心、協調性、チームワーク〉



〈塩尻西部中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども
〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども
〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切にし、様々な人と協働して活動ができる子ども
〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども
〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉

【塩尻西部中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 心身ともに健やかで、多様な人と協働して活動する子どもの育成
- 自己実現に向け主体的に学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

楡川中学校区〈楡川中・木曾楡川小〉⇒令和4年度より楡川小中学校（義務教育学校）

【楡川中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 温かい人間関係を築くことができる子どもの育成
- 心身ともにたくましく、自立し、未来を拓く子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語る子どもの育成

【両小野中学校区〈両小野学園〉において保小中一貫した12年間で育てたい子どもの姿】
ふるさと「たのめの里」を知り、共に愛し、「たのめの里」に貢献できる子ども
～輝く「あいさつ」・響き合う「歌声」・深まる学び～

〈両小野小（辰野町塩尻市小学校組合立）〉

「たのめの里に生き、たのめの里の未来を切り拓く子どもの育成」

- 「たのめ科」の充実
 - ・地域を知り、地域の方から伝統を継承し学び、地域を愛する子の育成
- 保小中一貫のために
 - ・「保小一貫」：校内巡り、プール交流、給食の試食、児童会祭り招待
 - ・「小中一貫」：6年生の中学校登校〈1ヶ月間〉、地域美化活動
 - ・「保小中一貫」：学園音楽祭



〈両小野中（塩尻市辰野町中学校組合立）〉

「たのめの里に生き、たのめの里の未来を切り拓く子どもの育成」

- アントレプレナー学習、プリリアント学習を通し
 - *地域を知り、地域の活性化について考え、人々と関わることで故郷を大切に思い、さらに好きになる。
- 「夢プロジェクト生徒会」
 - *アントレプレナー学習で見いだされた課題を、全校の活動にしていく、地域貢献型の両小野中モデルの生徒会を構想していく。



〈北小野保育園（塩尻市立）〉

- よりよい環境のもとで、のびのび過ごし、発達に応じた活動の積み重ねを行える保育園
- 子どもの個性や特性を大切にし、もっている力を十分に発揮し生活できるよう一人ひとりに応じた支援ができる保育園
- たのめの里の歴史ある郷土の文化を大切にし、「太鼓活動」や「地域ボランティアの保育園参加」を通して、地域を知り地域を愛する心を育てる保育園



〈小野保育園（辰野町立）〉

- 安心して預けられる保育園
- 一人ひとりの子どもの適切な援助ができる保育園
- 保護者と共に子どもの成長を支援する保育園
- 地域ボランティアの協力のもと、地域を知り、地域を愛する心豊かな子どもの育成



塩尻市内の全小中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクール活動が開始された平成28年度、学校運営協議会の熟議の中で「地域と学校とで協働し、どのような子どもを育てていくのか、その具体的なイメージを地域と学校とで共有する必要がある。」という意見が多く出され、翌年度（平成29年度）第1回目学校運営協議会の熟議（グループワーク）を通し各校のものが策定され、また第2回目の中学校区内小中合同学校運営協議会では「小中の9年間を通し、地域学校協働体制・活動により育てたい子どもの姿（資質・能力）」が策定されました。これらの「姿（資質・能力）」は策定後10年を経過した現在でも各CS活動を推進・評価していく上の指標となっています。

塩尻市教育委員会の窓から



2025年度塩尻市コミュニティ・スクール実践集のテーマ

10年間の成果を感じ、10年先を見据える
～これまで積み上げたものを次の時代につなげよう～

塩尻市コミュニティ・スクール（以下「コミスク」）が始まって今年で10年目となりました。上記のようなテーマを掲げ、様々な話し合いの場で10年を振り返り、成果や課題を共有し、これから10年先を見据えてどんなことができそうか、話し合う機会がつけられました。

今年度の実践集は、これまでの10年の歩みを振り返ることができるように、学校ごとに10年間の取組をまとめてみました。教頭先生を中心にまとめていただいた取組の様子は、1年間の中では大きな変化を感じる事が少なくても、10年間を続けて見てみると、地道に、着実に歩んできたことによる大きな力を感じることができます。その時その時の子どもたちの成長や学び、関わる先生方、保護者や地域の皆さんの様々なつながりによってこれだけの大きな力になることを実感できると共に、これから先に関わる人がかわっても、地道に着実に取り組んでいくことが、10年先につながっていくことを実感しました。また、コミスクの中心になって関わっていただいている学校運営協議会や地域教育協議会の会長さん、学校支援コーディネーターさんからも特別寄稿として書いていただいています。関わる期間に長短はあっても、その中で直に感じた思いや願いは今後につながる大事なものが詰まっています。

これまで塩尻市のコミスクに温かく関わっていただいた多くの皆さんに感謝を申し上げますと共に、今後も「できることを、できる時に」関わる人が増え、様々な立場の大人が共に語り合いながら、楽しみながら一緒に創っていくことで、子どもたちの笑顔あふれる成長や、つながりのある元気な地域になっていくことを願っています。

1 進化するコミスク

第3回学校運営協議会は、各学校で今年度を振り返り、成果や課題を生かして来年度への準備を進める会議として、どの小委員会や協議会でも、学校の熱い思い、地域の受け止め、もっとこうしたらというアイデア等が出されていました。これからもう一步進化するために、形ややり方などを変えてみようという動きが様々なところで見られます。自分たちの学校に合った形で、より活動を広げたり、学びを深めたりしていけるように、また、学校の願いを理解してより強い協力体制で充実した活動にしていけるように、見直しできるところはしていきましょう。

動きのある例をいくつか挙げてみます。

学校運営協議会

- 学運協委員の皆さんが参加しやすい時間帯に行く（第2回は先生方が参加しやすい時間帯に）。時間を変えて開催してみる。
- 熟議のテーマをより具体的なもの、誰もが気軽に意見が言えるものにしていく。
- 話し合いの様子や内容を先生方、欠席の委員さん、地域の方に共有していく。
- 全4回の見通しをもって進め、次年度に生かせるようにしていく。
- 一体的な取組を行うために学運協と地教協を一つの組織にしていく。
- 一年間を通して取り組む目標（キャッチフレーズ）を考える。

地域教育協議会（地域学校協働本部）

- ・ボランティアの皆さんへの連絡方法の見直し（LINE スクールのお試し）。
- ・ボランティアの内容をより具体的に、できるだけ早めに伝えていく。
- ・保護者・PTA の皆さんにも内容を周知して、関わってもらえる人を増やす。
- ・関わっていただいた様子や成果をボランティア・保護者・PTA・地域の皆さん・先生方に周知できるようにする（CS フェスタやお礼の会の工夫）。
- ・一年間を通して取り組む目標（キャッチフレーズ）を考える。

今回の会議を通して、コミスクの取組の周知という点が、ポイントになってきていると感じました。まず、学校運営協議会の委員の皆さんにしっかり周知されているか、また周知されたことをそれぞれの立場で発信していただいているか。学校の先生方への周知はどうか。ボランティアの皆さん、地域の皆さんにどれだけ周知されているか。この点を今一度見直していきたいと考えています。

来年度から第6期（11・12年目）がスタートします。改めて、学校運営協議会委員の皆さんに役割や内容が分かるように、これまで続けている方にも確かめができるように「手引き」を作って配布する予定です。

2 11年目のスタートに当たって

来年度より、コミスクに関わる名称の変更と確認をお知らせします。

その1

- 支援から連携・協働、参画の取組みになってきている今、これからも更に協働の取組みが進められるよう、学校支援という言い方をやめます。

学校支援ボランティア → **CS ボランティア**

学校支援コーディネーター → **CS コーディネーター**

学校とボランティアの皆さんとの関係は対等、共に子どもたちのために取り組むパートナーです。そのために「CS ボランティア」という名前にしていきます。

「CS コーディネーター」は、コミスクの地域コーディネーターと地域学校協働活動推進員を合わせた役割です。今後も幅広く学校と地域をつなげていきます。

その2

- 活動に関わる大人が様々な立場の人になりつつあり、今後も更に様々な職種や立場の人々とつながっていく可能性があります。以下の名称は引き続き使用していきますが、国が発信している言葉と同じ内容であることを知っていただき、CS 活動の内容の充実に役立てていってください。

地域教育協議会（＝地域学校協働本部） **CS 活動（＝地域学校協働活動）**

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えると共に、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

★塩尻市コミュニティ・スクールに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

塩尻市教育委員会 学校教育課 教育企画係（地域連携コーディネーター）

〒399-0738 長野県塩尻市大門七番町4番3号

Tel (0263)52-0280 (代) 内線 3111 FAX (0263)52-4354